

プリンタ LANカード
オンラインマニュアル

富士通アイソテック株式会社

Revision 2.0.4.0

目次

| | | |
|----------|------------------------------------|-----------|
| 1 | はじめに | 3 |
| 1.1 | 本製品の導入 | 3 |
| 1.2 | 本製品の詳細設定/設定変更/管理を行う | 4 |
| 2 | 本製品について | 5 |
| 2.1 | PR-LN1/PR-LN1W の特長 | 5 |
| 2.2 | 動作環境 | 6 |
| 2.3 | 機器の説明 | 7 |
| 2.3.1 | 各部の名称と働き | 7 |
| 2.3.2 | ネットワークに接続する | 9 |
| 2.4 | 商標 | 9 |
| 3 | Windows 環境での使用 | 10 |
| 3.1 | パソコンのネットワーク設定を確認する | 11 |
| 3.2 | Quick Setup による簡単設定 | 14 |
| 3.3 | PR-Port Manager をインストールする | 14 |
| 3.4 | 印刷ポートを追加する | 15 |
| 3.5 | プリンタドライバの設定 | 20 |
| 3.6 | プリンタポートの設定 | 22 |
| 4 | OS 標準の印刷クライアント機能で印刷する | 24 |
| 4.1 | Standard TCP/IP ポートで印刷する | 24 |
| 4.2 | LPR ポートで印刷する | 31 |
| 4.2.1 | LPR ポートの追加 | 31 |
| 4.2.2 | LPR ポートの設定 | 33 |
| 4.3 | IPP ポート | 39 |
| 5 | AdminManager で設定する | 43 |
| 5.1 | AdminManager を使用する | 43 |
| 5.1.1 | AdminManager を起動する | 44 |
| 5.1.2 | AdminManager で本製品を検索する | 45 |
| 5.1.3 | AdminManager の機能 | 46 |
| 5.2 | AdminManager で本製品の設定を行う | 48 |
| 6 | Web ブラウザで設定する | 59 |
| 6.1 | 本製品の Web ページを表示する | 60 |
| 6.2 | 本製品の Web ページから設定する | 61 |
| 6.3 | 本製品 Web ページメニュー構成 | 61 |
| 6.4 | Web ブラウザ設定項目 | 62 |
| 7 | Popup Status Monitor | 69 |

| | | |
|-----------|--------------------------------|-----------|
| 7.1 | Popup Status Monitor の起動 | 69 |
| 7.2 | Popup Status Monitor の表示 | 70 |
| 7.3 | オプション設定ダイアログ | 72 |
| 8 | AdHoc モードでの接続について | 74 |
| 8.1 | AdHoc 接続の注意点 | 74 |
| 8.2 | AdHoc 接続の設定 | 75 |
| 9 | トラブルシューティング | 85 |
| 9.1 | 導入時の問題 | 85 |
| 9.2 | 印刷時の問題 | 88 |
| 9.3 | WindowsTCP/IP 環境での問題 | 90 |
| 9.4 | 無線 LAN 接続時の問題 | 92 |
| 10 | 改訂履歴 | 93 |

1 はじめに

本マニュアルは、本製品の設定およびご利用方法を記載したものです。正しく安全にお使いいただくために、ご熟読ください。また、複数製品共通のマニュアルとなっておりますので、ご使用になる製品の仕様と一部異なる箇所があります。使用できるプリンタの機種については、システム構成図、カタログ等で確認してください。本製品の導入手順に従って、本マニュアルの関係する章を参照しながら、導入を進めてください。

※ご利用の環境によっては、以下で説明している導入手順と異なる場合があります。
※ご使用のパソコンに、あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。

1.1 本製品の導入

➤ 本製品の設定ユーティリティ

本製品の設定が行えるユーティリティは以下の通りです。ご利用の環境にあわせた設定ユーティリティをご利用ください。

| | | | |
|-------|-----------------|---|-----|
| 設定ツール | Quick Setup | 本製品の初期導入を行う(推奨) | 第3章 |
| | Advanced Setup | 本製品の詳細設定および設定変更、管理を行う | 第5章 |
| | PR-Port Manager | 印刷クライアントソフトと Popup Status Monitorをインストールする | 第3章 |

➤ 本製品の導入と設定(管理者編)

本製品の導入と設定手順について説明します。

| | | |
|----------------|----------------------|--------|
| STEP1 取り付け | 本製品をプリンタとネットワークに接続する | 第2章 |
| STEP2 設定 | Windows 環境で本製品を使用する | 第3章 |
| STEP3 設定の確認 | 設定項目の一覧を表示し、設定の確認を行う | 第5, 6章 |

➤ 本製品の設定(クライアント編)

本製品の導入と設定手順について説明します。

| | | |
|----------------|----------------------|--------|
| STEP1 設定 | Windows 環境で本製品を使用する | 第3章 |
| STEP2 設定の確認 | 設定項目の一覧を表示し、設定の確認を行う | 第5, 6章 |

1.2 本製品の詳細設定/設定変更/管理を行う

本製品の詳細設定/設定変更/管理を行う総合ユーティリティ「AdminManager」のご利用方法について説明します。

| | | |
|----------|-------------------|-----|
| 設定に関する機能 | AdminManagerで設定する | 第5章 |
| | Webブラウザで設定する | 第6章 |

2 本製品について

本章では、製品の動作環境や概要、ネットワークへの接続方法について説明します。
本製品の名称は使用するプリンタ装置のインターフェースによって異なります。

有線 LAN : 「PR-LN1」
有線/無線 LAN : 「PR-LN1W」

2.1 PR-LN1/PR-LN1W の特長

- (1) 10BASE-T、100BASE-TX 対応 (自動認識)
- (2) ポップアップステータスマニタ「Popup Status Monitor」搭載
- (3) 簡単設定の Quick Setup
- (4) HTTP 搭載で Web ブラウザからの設定も可能
- (5) 総合ユーティリティ「AdminManager」標準添付
- (6) 統合クライアントソフトウェア「PR-Port Manager」標準添付
- (7) E-Mail 送受信機能搭載
- (8) 無線 LAN 機能搭載 (PR-LN1W のみ)
IEEE802.11a/b/g 準拠
対応セキュリティ : WEP (64/128bit)、WPA-PSK (TKIP/AES)/WPA2-PSK (AES)

➤ **セキュリティ対策追加**

ネットワークプリンタのセキュリティ対策として、IP フィルタ機能を搭載しています。IP アドレスレベルで PR-LN1/PR-LN1W へのアクセスを制限する機能です。特定範囲の IP アドレスからのアクセスを禁止、または特定範囲の IP アドレスのみのアクセスを許可することでプリンタを予期せぬアクセスから保護します。

➤ **DDNS (Dynamic Domain Name System) 機能搭載**

PR-LN1/PR-LN1W の IP アドレスを DDNS 機能搭載の DNS サーバに通知する機能を搭載しています。これにより、PR-LN1/PR-LN1W が DHCP サーバより動的に IP アドレスを獲得した場合にも、即座に Domain Name System に反映され、ドメイン名と IP アドレスの不整合を防ぐことができます。

➤ **ポップアップステータスマニタ機能搭載**

プリンタの状態をパソコン画面に表示してお知らせする、ポップアップステータスマニタ機能を搭載しています。

2.2 動作環境

➤ ネットワークに接続するために必要な機器

- ・ ネットワークケーブル(100BASE-TX 環境ではカテゴリ5 以上)
- ・ イーサネットハブ(100BASE 対応)
- ・ プリンタ本体
 - PR-LN1 : FP-510II、FP-510、FP-510K、FP-32L、FP-1100
 - PR-LN1W : FP-510K(WL)、FP-32L

※無線 LAN を使用する場合、無線 LAN アクセスポイントまたは、アドホック接続が可能な無線 LAN 機能搭載パソコンが必要になります。

ただし、アドホック接続は Windows8.1 以降の OS では未サポートです。

※IEEE802.11a の W52, W53 帯域のチャンネル(ch36, 40, 44, 48, 52, 56, 60, 64) は、電波法により屋外での使用が禁止されています。

➤ 対応プロトコル

- (1) 対応プロトコル
- ・ TCP/IP

※WAN 環境などのような、ルータを越える LAN 接続では、LAN カードは使用できません。

➤ 実行条件

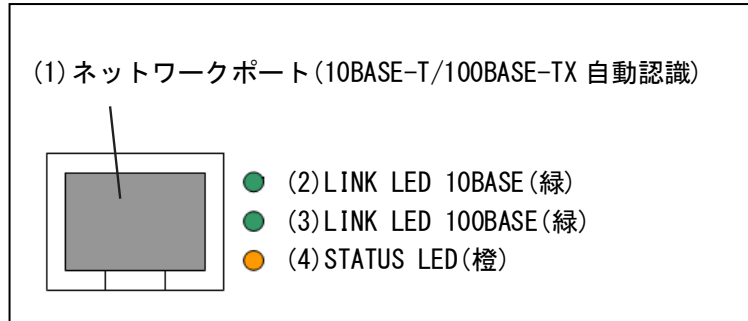
本ツールを実行するには、管理者権限が必要です。

実行する際は、Administrators のアカウントでログオンしてください。

2.3 機器の説明

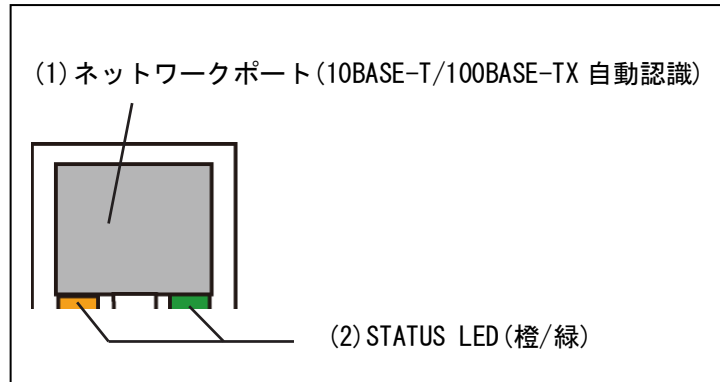
2.3.1 各部の名称と働き

PR-LN1の場合



- (1) ネットワークポート (10BASE-T/100BASE-TX自動認識)
ネットワークケーブルを接続します。(100BASE-TX 環境では、カテゴリ5以上)
- (2) LINK LED 10BASE (緑)
10BASE-T でネットワーク接続が確立されると、点灯します。
- (3) LINK LED 100BASE (緑)
100BASE-TX でネットワーク接続が確立されると、点灯します。
- (4) STATUS LED (橙)
通信中は、点滅します。

PR-LN1Wの場合

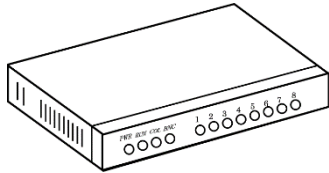


- (1) ネットワークポート (10BASE-T/100BASE-TX自動認識)
ネットワークケーブルを接続します。(100BASE-TX環境では、カテゴリ5以上)
- (2) STATUS LED
Link状態に応じて、以下のLED点灯制御を行います。

| Link状態 | | 色 | 動作内容 |
|--------|-------|---|---|
| 有線 | | 緑 | 10BASE-Tと認識したときに点滅(1秒周期)、100BASE-TXと認識したときに点灯します。 |
| | | 橙 | パケットを受信したとき、一定期間(50msec)点灯します。 |
| 無線 | 未LINK | 緑 | 点滅(1秒周期)します。 |
| | | 橙 | AdHoc : 点灯します。 Infra : 点滅(1秒周期)します。 |
| | LINK | 緑 | パケットを受信したとき、一定期間(50msec)点灯します。 |
| | | 橙 | 点灯します。 |

2.3.2 ネットワークに接続する

本製品をネットワークに接続するために、以下のものをご準備ください。



イーサネットハブ (HUB)



ネットワークケーブル

※100BASE-TX 環境でお使いの場合は、100BASE 対応のイーサネットハブ (HUB) とネットワークケーブル (カテゴリー5 以上) をご用意ください。

〈ネットワークへの接続方法〉

- (1) プリンタの電源がOFFになっていることを確認します。
- (2) 本製品のネットワークポート (10BASE-T/100BASE-TX) にネットワークケーブルを接続します。
- (3) イーサネットハブ (HUB) に、ネットワークケーブルのもう一方を接続します。
- (4) プリンタの電源をONにし、本製品のLINK LEDが点灯することを確認します。

〈ガイド〉 無線LANをご使用の場合、無線LANアクセスポイント、またはアドホック接続が可能な無線LAN機能搭載パソコンが必要になります。無線LANアクセスポイントの接続方法/設定については、ご使用の無線LANアクセスポイントのマニュアルをご参照ください。

※無線LAN接続を行う場合も、本製品の初期設定は有線接続で行うことを推奨します。

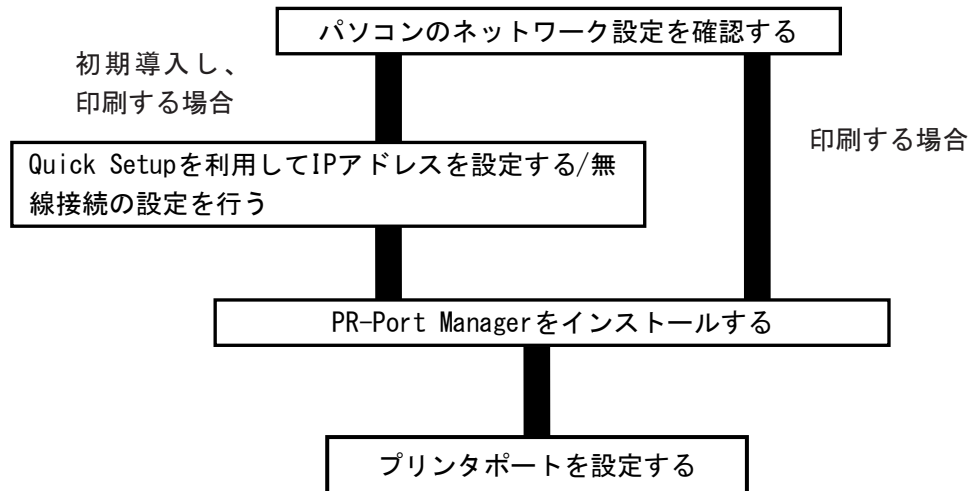
2.4 商標

本書内に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

3 Windows 環境での使用

本章では、Windows環境で本製品を接続して、TCP/IPで印刷を行う方法について説明します。

本製品をTCP/IPプロトコルを利用して印刷する際の手順は以下の通りです。



※あらかじめプリンタドライバをご使用のパソコンにインストールしてください。

※設定を行うには、Administrator 権限が必要です。

※Windows Vista以降のOSをご利用の場合、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、[許可]または[はい]を選択してください。

<ガイド>Windows 標準の印刷クライアントで印刷を行う場合は、「第4章 OS 標準の印刷クライアント機能で印刷する」をご参照ください。

3.1 パソコンのネットワーク設定を確認する

Windows Vista 以降の OS の場合

[インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)] が追加されていることを確認します。

1. [スタート] (※1) - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] - [ネットワーク接続の管理(※2)] - [ローカルエリア接続(※3)] を選択します。

(※1) Windows Vista/7/Windows Server 2008/2008R2 のとき :

画面左下の Windows ロゴ を示します。

Windows 8/Windows Server 2012 以降の OS のとき :

[Windows ロゴ] キー + [X] キー を押し、画面左下に ショートカットメニュー を表示させ、[コントロールパネル] を選択します。

Windows 10 (ver1703~)/Windows Server 2019 以降のとき :

画面左下の [Windows ロゴ ボタン] をクリックし、[Windows System ツール] を選択し、[コントロールパネル] を選択します。

(※2) Windows 7/Windows Server 2008R2 以降の OS の場合は、[アダプターの設定の変更]。

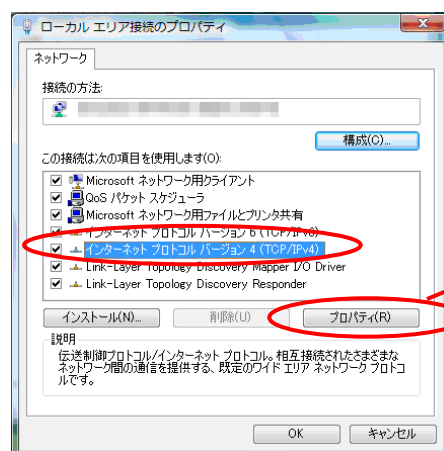
(※3) Windows 10 / Windows 11 以降の場合は、[イーサネット]。

2. [ローカルエリア接続の状態] の [プロパティ] を選択します。

※ Windows 10 / Windows 11 以降の場合は、[イーサネット] の [プロパティ] を選択します。

※ 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、[続行] を選択してください。

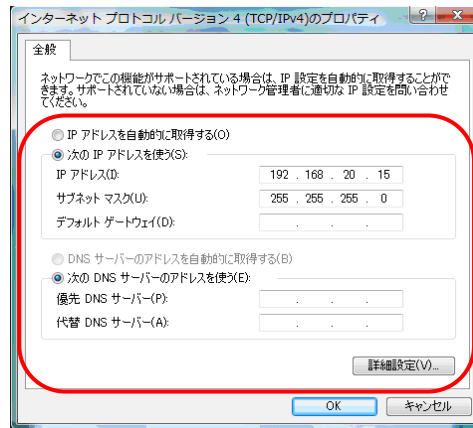
3. [インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)] が追加されていることを確認してください。



[プロパティ] をクリックしてください。

※ [インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)] が一覧にない場合は [インストール] をクリックし、[ネットワーク機能の種類の選択] - [プロトコル] - [インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)] を選択し、追加してください。

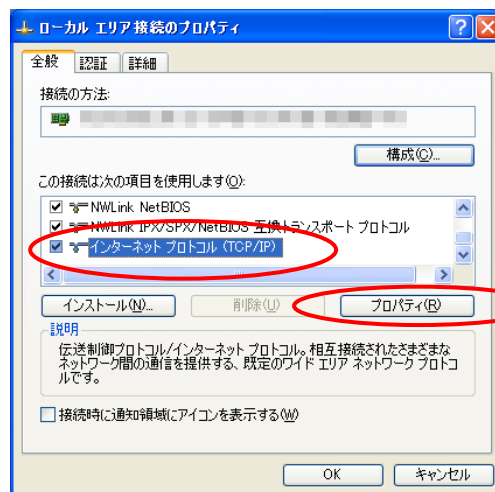
4. [全般]で、ご使用の環境に合わせた設定が行われているか確認してください。



Windows XP 以前の OS の場合

[インターネットプロトコル (TCP/IP)]が追加されていることを確認します。

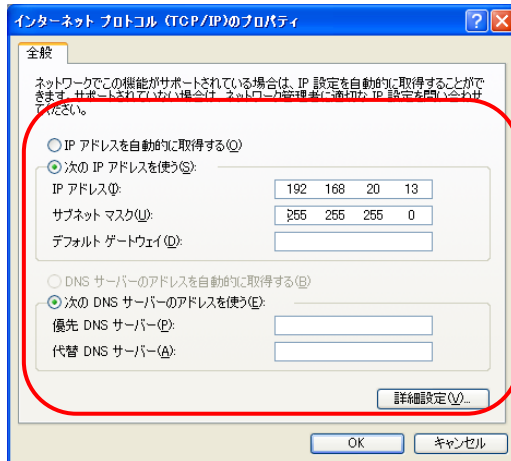
1. [スタート] -[設定] -[コントロールパネル] -[ネットワークとダイヤルアップ接続] を選択します。
2. [ローカルエリア接続]のプロパティを開きます。
3. [インターネットプロトコル (TCP/IP)]が追加されていることを確認してください。



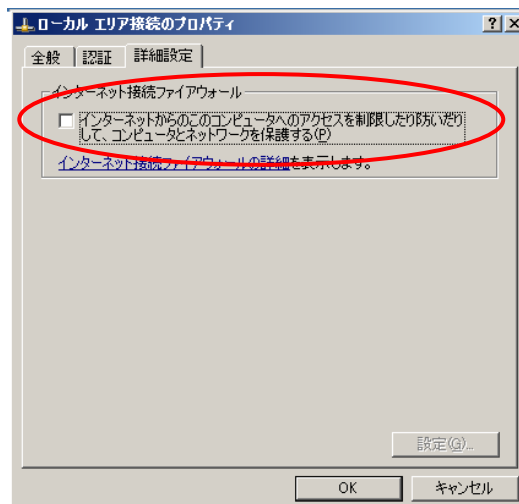
[プロパティ]をクリックしてください。

※[インターネットプロトコル (TCP/IP)]が追加されていない場合は[インストール]をクリックし、[インターネットプロトコル (TCP/IP)]を選択して追加してください。

4. [全般]で、ご使用の環境にあわせた設定が行われているか確認してください。



<ガイド> Windows Server 2003 環境で TCP/IP プロトコルをご利用になる場合は、[ローカルエリア接続のプロパティ] - [詳細設定]で[インターネットからのこのコンピュータへのアクセスを制限したり・・・]のチェックを外してください。



3.2 Quick Setup による簡単設定

Quick Setup の操作手順についてはインストールガイドに記載しています。インストールガイドの「3.4 Quick Setup 手順」を参照してください。

※OS 標準の印刷機能をご利用になる場合は、「第 4 章 OS 標準の印刷クライアント機能で印刷する」をご参照ください。

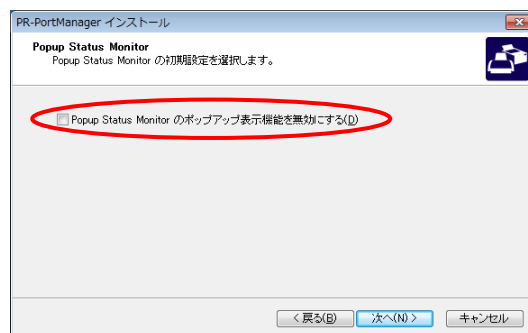
3.3 PR-Port Manager をインストールする

Windows 環境で、本製品を利用して TCP/IP プロトコルで直接印刷を行うために、本製品に付属している「PR-Port Manager」をご利用になることができます。「PR-Port Manager インストール」については、ウィザードの手順に従い、インストールを行ってください。

「PR-Port Manager」は、LPR 機能(弊社製品専用)、IPP 機能がご利用いただける印刷クライアントソフトウェアと、「Popup Status Monitor」が収録されています。インストールが完了すると、プリンタポート追加ウィザードが起動します。

- **LPR(Line Printer Remote) 機能**
ローカルエリアネットワーク (LAN) 上のプリンタに印刷することができます。一般に広く使用されているプロトコルです。
- **IPP(Internet Printing Protocol) 機能**
インターネットを経由して遠隔地のネットワークプリンタに印刷することができます。
- **Popup Status Monitor**
プリンタの状態をパソコン画面にポップアップして表示する便利なモニタです。

※インストールウィザードの以下の画面で初期設定を選択することができます。



チェックをはずすと、印刷中にエラーが発生した場合、その内容を「Popup Status Monitor」がポップアップ表示します。

「Popup Status Monitor」の詳細については「第 7 章 Popup Status Monitor」をご参照ください。

※IPP(Internet Printing Protocol)機能では「Popup Status Monitor」をご利用することが出来ません。

※プリンタ本体に添付されているユーティリティを使用する場合には、以下の条件で印刷ポートを作成してください。

- ・「PR-PortManager」の LPR ポートを作成する。(「PR-PortManager」の IPP ポートは対応していません)
- ・ポート名は、初期状態 (xxx. xxx. xxx. xxx : lp) としてください。

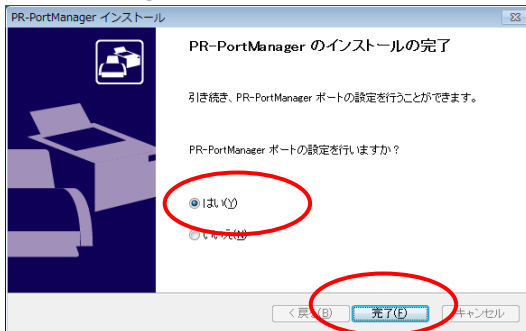
3.4 印刷ポートを追加する

本製品では「PR-Port Manager」の、「LPR で印刷する」「IPP で印刷する」の2つのポート作成方法をご利用いただけます。印刷に使用するプロトコルを選択し、[次へ]をクリックすると、各印刷方式のポート作成画面へ移ります。

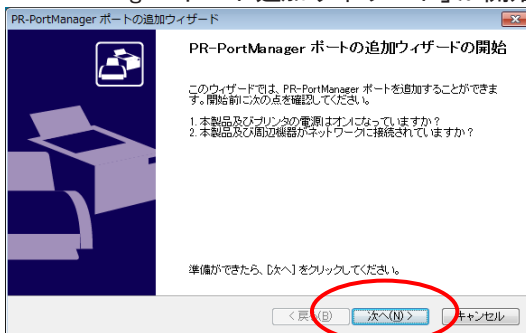
※以下の説明は、FP-510 をご使用の場合の画面で行っております。

＜ポートの作成手順＞

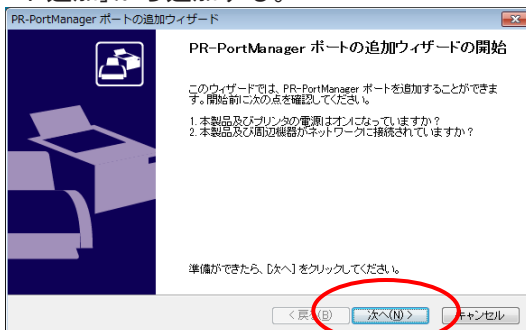
(a) 「PR-Port Manager インストール」から続いて追加する。



「PR-Port Manager ポート追加ウィザード」が開始します。



(b) 「PR-Port Manager」インストール後に[PR-Port Manager ポート追加]から追加する。



(a) 「PR-Port Manager インストール」から続いて追加する場合

[はい]を選択してください。

[完了]を選択してください。

「PR-PortManager ポート追加ウィザード」が開始します。[次へ]をクリックしてください。

(b) [スタート] - [プログラム] (または [すべてのプログラム]) - [PR-Port Manager]にある[PR-Port Manager ポート追加]から追加します。

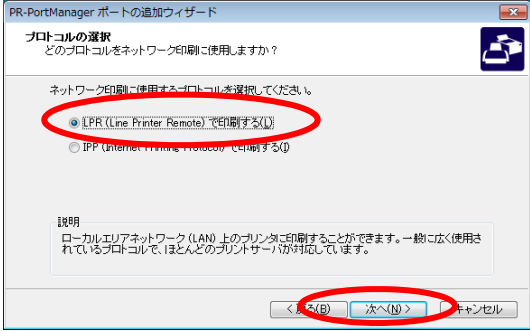
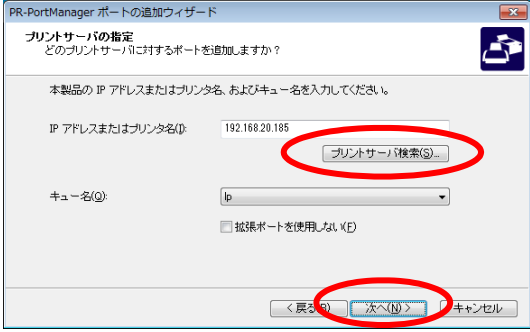
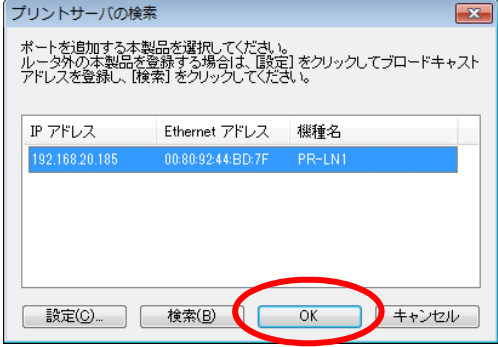
※Windows8 以降の OS をご利用の場合、スタート画面から[アプリ(すべてのアプリ)]を開き、[PR-PortManager ポートの追加]タイルをクリックします。

※Windows10/ Windows11 の場合は、[スタート] - [すべてのアプリ] - [PR-PortManager] - [PR-Port Manager ポート追加]をクリックします。

[次へ]をクリックしてください。

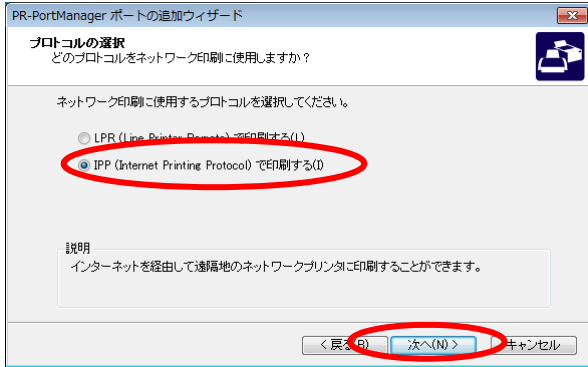
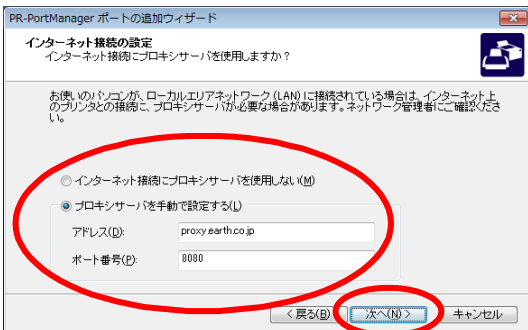
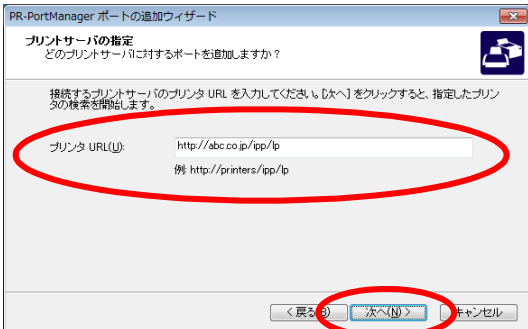
※Windows Vista 以降の OS をご利用の場合、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、[許可]または[はい]を選択してください。

<PR-Port Manager で LPR ポートを追加する場合>

| | | |
|----------|--|---|
| <p>1</p> | <p>LPR (Line Printer Remote) を選択します。</p>  | <p>[LPR (Line Printer Remote) で印刷する] を選択します。</p> <p>[次へ] をクリックしてください</p> |
| <p>2</p> |  | <p>[プリントサーバ検索] ボタンでネットワーク内のプリントサーバの一覧を表示させ、本製品を選択してください。キュー名は「lp」を選択してください。</p> <p>[次へ] をクリックしてください。</p> <p>※IP アドレスを直接入力することで、本製品を選択することもできます。</p> |
| <p>3</p> |  | <p>ポートを選択して [OK] をクリックしてください。</p> <p>※Ethernet アドレスは、本製品のシール表示を確認してください。</p> <p>※お使いのプリンタの IP アドレスを特定するには、「AdminManager」を用いて確認してください。</p> |

| | | |
|----------|--|--|
| <p>4</p> | <p>プリンタポート名を入力します。</p>  | <p>[次へ]をクリックしてください。</p> <p>※名前を指定しない場合は、既定のプリンタポート名をご使用ください。</p> |
| <p>5</p> | <p>設定内容を確認します。</p>  | <p>[完了]をクリックしてください。</p> |
| <p>6</p> | <p>使用するプリンタを一覧の中から選択します。</p>  | <p>[次へ]をクリックしてください。</p> |
| <p>7</p> | <p>ポート設定を完了します。</p>  | <p>[完了]をクリックしてください。</p> |

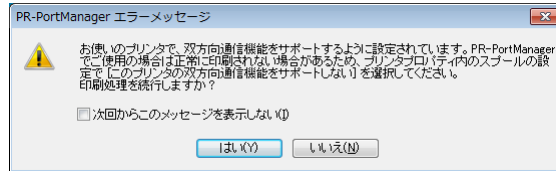
<PR-Port Manager で IPP ポートを追加する場合>

| | | |
|----------|---|---|
| <p>1</p> | <p>IPP(Internet Printing Protocol)を選択します。</p>  | <p>「IPP (Internet Printing Protocol) で印刷する」を選択します。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> |
| <p>2</p> | <p>インターネット接続のプロキシサーバを設定します。</p>  | <p>[インターネット接続にプロキシサーバを使用しない]又は、[プロキシサーバを手動で設定する]を選択してください。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> <p>※プロキシサーバを使用しないネットワークの場合は[インターネット接続にプロキシサーバを使用しない]を選択してください。Internet Explorer で使用しているプロキシサーバとは別なプロキシサーバを使用する場合は、[プロキシサーバを手動で設定する]を選択してください。</p> |
| <p>3</p> | <p>プリンタ URL を入力します。</p>  | <p>[プリンタ URL]には、印刷先の本製品に割り当てられた URL を入力してください。本製品の IPP プリンタ URL は、「/ipp」又は「/ipp/lp」です。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> <p>例) URL が「abc.co.jp」の場合 http://abc.co.jp/ipp/lp</p> <p>例) IP アドレスが「192.168.20.185」の場合 http://192.168.20.185/ipp/lp</p> <p>※[次へ]をクリックすると、指定された URL が存在するか、確認されます。</p> |

| | | |
|----------|--|--|
| <p>4</p> | <p>プリンタポート名を入力します。</p>  | <p>[次へ]をクリックしてください。</p> <p>※名前を指定しない場合は、既定のプリンタポート名をご使用ください。</p> |
| <p>5</p> | <p>設定内容を確認します。</p>  | <p>[完了]をクリックしてください。</p> |
| <p>6</p> | <p>使用するプリンタを一覧の中から選択します。</p>  | <p>[次へ]をクリックしてください。</p> |
| <p>7</p> | <p>ポート設定を完了します。</p>  | <p>[完了]をクリックしてください。</p> |

3.5 プリンタドライバの設定

プリンタドライバの設定方法を説明します。表示画面はWindows 7の場合を例にしています。プリンタドライバの設定を行わない場合、次のエラー画面が表示されることがあります。[いいえ]を選択し、下記の手順でプリンタドライバの設定を行ってください。



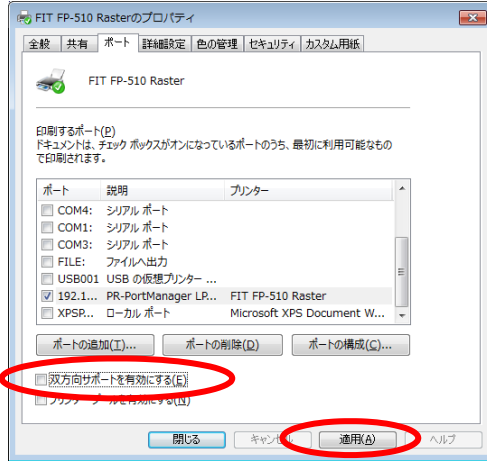
※プリンタドライバ設定後、印刷がうまくできない場合は、パソコンを再起動してください。
 ※ 各 OS における“プリンタフォルダ”または“プリンタプロパティ”画面の表示方法については、「インストールガイド」の「本書での説明表記について」を参照ください。

※以下の説明は、FP-510 をご使用の場合の画面で行っております。

| | | |
|---|--|------------------------------------|
| <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">1</p> | | <p>プリンタフォルダから、プリンタのプロパティを開きます。</p> |
| <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">2</p> | | <p>[ポート]を選択してください。</p> |

3

双方向の設定をします。



「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずしてください。

適用をクリックしてください。

3.6 プリンタポートの設定

〈LPR ポート〉

PR-PortManager で LPR ポートを設定しているプリンタのプロパティ画面で[ポートの構成]をクリックすると、LPR ポートの設定を行うことができます。

➤ 基本設定

| | 項目 | 設定内容 | 初期設定 |
|------|----------------|--|------|
| 基本設定 | IPアドレスまたはプリンタ名 | 印刷先の IP アドレスまたはプリンタ名を入力します。 (半角で最大 64 文字) | なし |
| | キュー名 | 印刷先のキューを選択します。 | なし |
| | タイムアウト値 | データ送受信時の通信タイムアウト値を設定します。 入力できる範囲は、60～3600 秒です。 | 900 |
| | 拡張ポートを使用しない | 拡張ポート(1024 番以降の任意のポート)を使用しません。使用ポートを 11 個(721 番から 731 番まで)に制限する場合にチェックします。 | 使用する |
| | バージョン | バージョン情報を表示します | なし |

<IPP ポート>

PR-PortManager で IPP ポートを設定しているプリンタのプロパティ画面で[ポートの構成]をクリックすると、IPP ポートの設定を行うことができます。

➤ 基本設定

| 項目 | 設定内容 | 初期設定 | |
|------|-------------------------|---|-----|
| 基本設定 | プリンタ URL | 印刷先のプリンタ URL を入力します。(半角で最大 256 文字) | なし |
| | タイムアウト値 | データ送受信時の通信タイムアウト値を設定します。入力できる範囲は、60～3600 秒です。 | 180 |
| | インターネット接続にプロキシサーバを使用しない | インターネット接続にプロキシサーバを使用しません。 | なし |
| | プロキシサーバを手動で設定する | 手動で設定したプロキシサーバを使用してインターネットに接続します。この項目を選択するとプロキシサーバのアドレスとポート番号が入力可能になります。アドレスは、半角で最大 256 文字まで入力可能です。 | なし |
| | バージョン | バージョン情報を表示します。 | なし |

➤ 詳細

| 項目 | 設定内容 | 初期設定 | |
|----|------------------------|--|-------|
| 詳細 | ユーザー認証 | サポートしていません。 | なし |
| | 言語 | IPP Attributes の Natural Language attributes を選択します。使用している Windows の言語により初期設定を行います。一覧にない言語は、英語 (U.S) となります。 | なし |
| | Chunked Encoding を使用する | データ送信に Chunked Encoding 機能を使用します。この機能を使用するには、通信先のサーバも同機能に対応している必要があります。対応していない場合、印字化け、プロキシサーバからのアクセス拒否等が発生する場合があります。 | 使用しない |
| | Max Chunk サイズ | チャンクサイズの最大データサイズを指定します。入力できる範囲は、1024～16384 です。 | 4096 |

4 OS 標準の印刷クライアント機能で印刷する

この章では、OS標準の印刷クライアント機能を利用して印刷する方法を説明します。

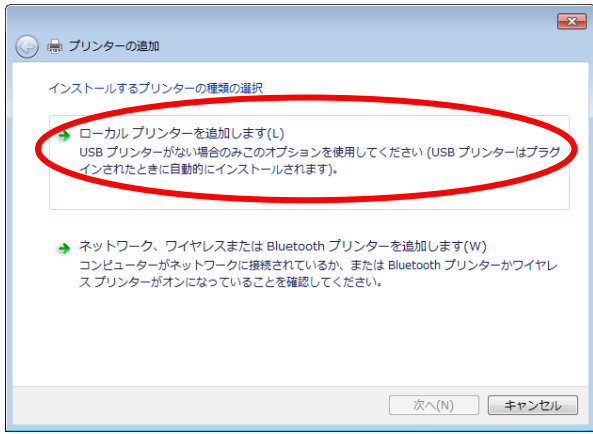
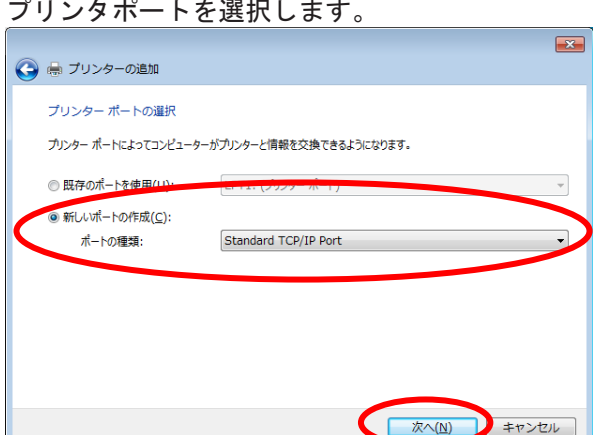
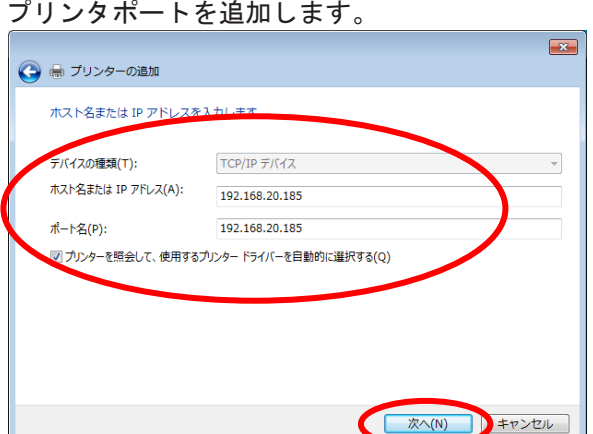
※ご使用のパソコンに、あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。

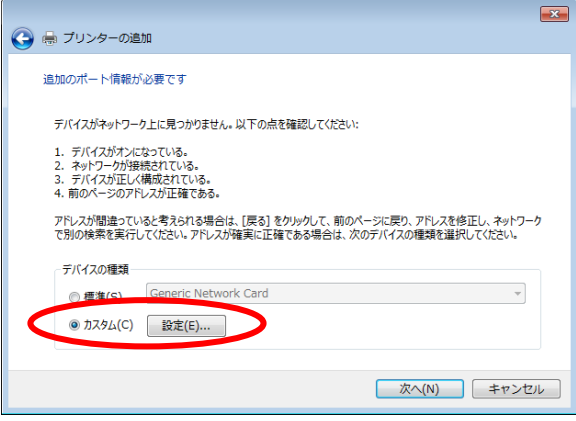
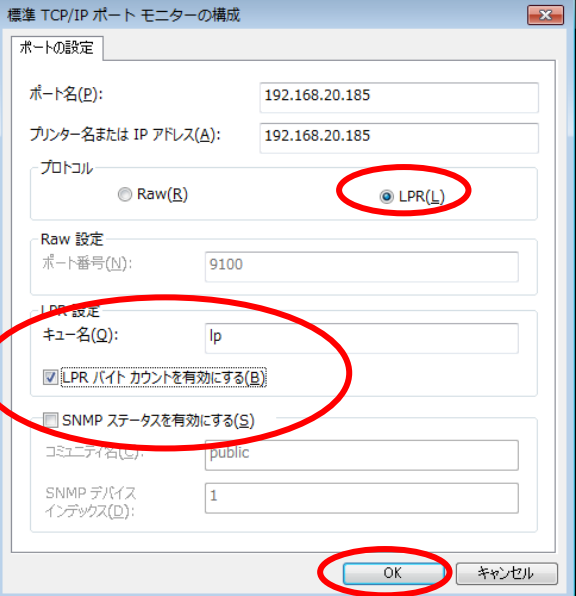
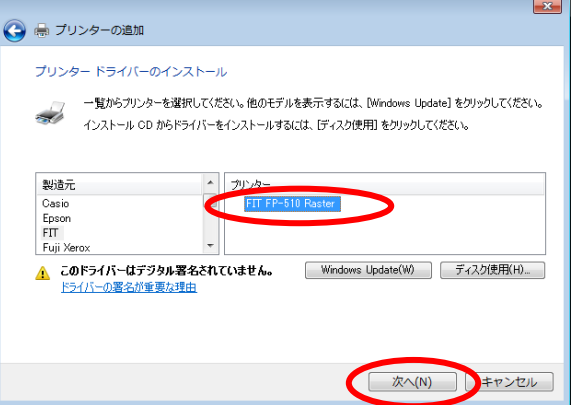
※OS 標準の印刷クライアント機能では、「Popup Status Monitor」をご利用することができません。

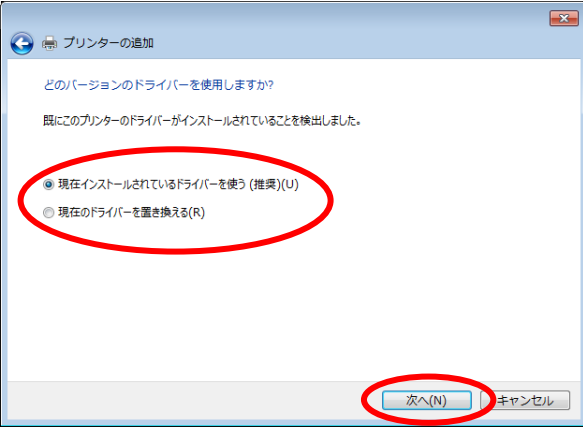
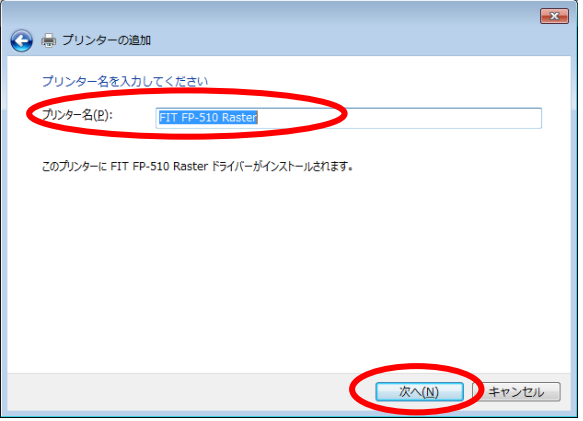
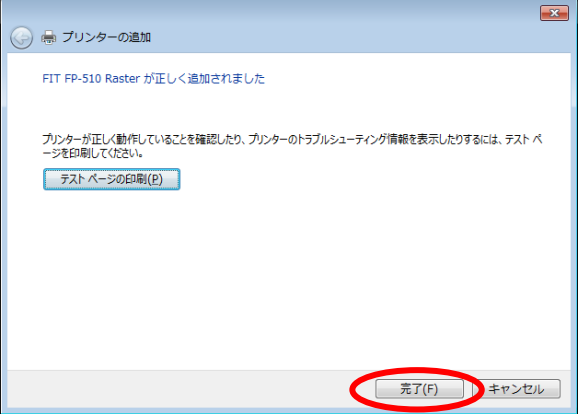
4.1 Standard TCP/IP ポートで印刷する

【Windows Vista以降のOSの場合】

※以下の説明は、Windows 7の画面で行っておりますので、その他のOSをご利用の場合、画面が異なります。

| | | |
|--|---|---|
| <p style="font-size: 2em; text-align: center;">1</p> |  | <p>[プリンタの追加]画面を開きます。その後、[ローカルプリンタを追加します]を選択します。</p> <p>※Windows 8以降のOSの場合、[プリンタの追加]をクリック後、[探しているプリンタはこの一覧にはありません]または[プリンタが一覧にない場合]をクリックし、[ローカルプリンタまたはネットワークプリンタを手動設定で追加する]にチェックします。</p> |
| <p style="font-size: 2em; text-align: center;">2</p> | <p>プリンタポートを選択します。</p>  | <p>[新しいポートの作成]にチェックを入れ、種類は[Standard TCP/IP Port]を選択します。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> |
| <p style="font-size: 2em; text-align: center;">3</p> | <p>プリンタポートを追加します。</p>  | <p>[ホスト名または IP アドレス] に本製品に設定した IP アドレスを入力してください。</p> <p>[デバイスの種類]は[自動検出]、[プリンタを照会して、使用するプリンタドライバを自動的に選択する]はチェック状態としてください。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> |

| | | |
|---|--|---|
| <p style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">4</p> | <p>デバイスの種類を決定します。</p>  | <p>[カスタム]にチェックを入れ、[設定]をクリックしてください。</p> |
| <p style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">5</p> | <p>ポート情報を入力します。</p>  | <p>[LPR]にチェックを入れてください。</p> <p>キュー名は「lp」を入力し、[LPRバイトカウントを有効にする]にチェックを入れてください。</p> <p>[OK]をクリックしてください。</p> <p>※[OK]をクリックすると「4」の画面に戻りますので、[次へ]をクリックしてください。</p> |
| <p style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">6</p> | <p>プリンタドライバを選択します。</p>  | <p>ご使用になるプリンタのドライバを選択してください。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> |

| | | |
|----------|--|--|
| <p>7</p> | <p>プリンタドライバを確認します。</p>  | <p>[現在インストールされているドライバーを使う]または[現在のドライバーを置き換える]を選択してください。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> <p>※最新ドライバを別途インストールされた場合は[現在のドライバーを置き換える]を選択してください。</p> |
| <p>8</p> | <p>プリンタ名を登録します。</p>  | <p>プリンタ名の登録を行います。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> <p>※Windows Vistaをご利用の場合 通常使うプリンタも設定することが可能です。 Windows 7以降のOSをご利用の場合は、次の画面で設定が可能です。</p> <p>※[次へ]をクリック後、プリンタ共有画面が表示された場合は、必要に応じて共有設定を行い、[次へ]をクリックしてください。 同じネットワーク内にある他のコンピュータからもこのプリンタをご使用になる場合は、「共有する」を選択してください。</p> |
| <p>9</p> |  | <p>必要に応じて、テストページの印刷及び通常使うプリンタを設定し、[完了]をクリックしてください。 設定完了です。</p> <p>※プリンタドライバのポート設定で [双方向サポートを有効にする]のチェックをはずしてください。</p> |

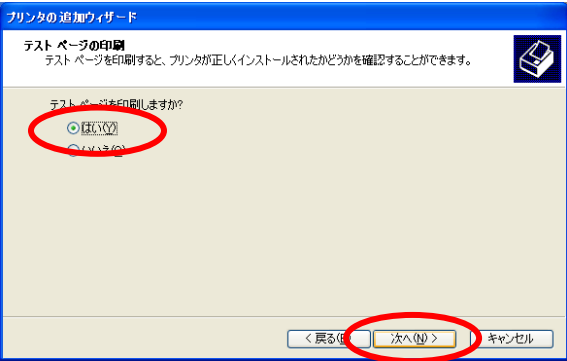
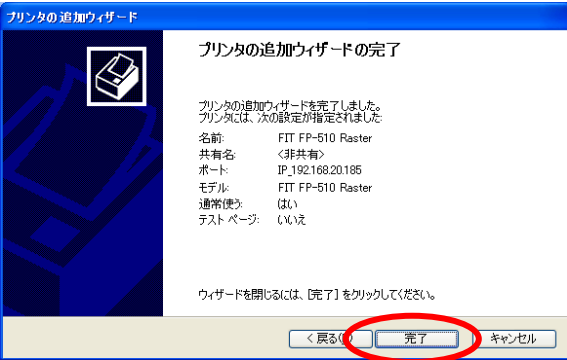
【Windows XP以前のOSの場合】

※以下の説明は、Windows XP Professionalの画面で行っておりますので、その他のOSをご利用の場合、画面が異なります。

| | | |
|----------|---|--|
| <p>1</p> |  | <p>[プリンタの追加]画面を開きます。 [次へ]をクリックしてください。</p> |
| <p>2</p> | <p>設定するプリンタの種類を選択します。</p>  | <p>[このコンピュータに接続されているローカルプリンタ]を選択し、[プラグアンドプレイ対応プリンタを...]のチェックを外してください。 [次へ]をクリックしてください。</p> |
| <p>3</p> | <p>プリンタポートを選択します。</p>  | <p>[新しいポートの作成]にチェックを入れ、種類は[Standard TCP/IP Port]を選択します。 [次へ]をクリックしてください。</p> |
| <p>4</p> | <p>標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードが開始します。</p>  | <p>[次へ]をクリックしてください。</p> |

| | | |
|----------|---|---|
| <p>5</p> | <p>プリンタポートを追加します。</p>  | <p>本製品に設定した IP アドレスを入力してください。</p> <p>名前を付けない場合は、既定値 (IP_XXX.XXX.XXX.XXX) をご使用ください。</p> <p>[次へ] をクリックしてください。</p> |
| <p>6</p> | <p>デバイスの種類を決定します。</p>  | <p>[カスタム] にチェックを入れ、[設定] をクリックしてください。</p> |
| <p>7</p> | <p>ポート情報を入力します。</p>  | <p>[LPR] にチェックを入れてください。</p> <p>キュー名は「lp」を入力し、[LPR バイトカウントを有効にする] にチェックを入れてください。</p> <p>[OK] をクリックしてください。</p> <p>※[OK] をクリックすると「6」の画面に戻りますので、[次へ] をクリックしてください。</p> |
| <p>8</p> | <p>設定内容を確認します。</p>  | <p>[完了] をクリックしてください。</p> |

| | | |
|-----------|--|--|
| <p>9</p> | <p>プリンタドライバを選択します。</p>  | <p>ご使用になるプリンタのドライバを選択してください。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> |
| <p>10</p> | <p>プリンタドライバを確認します。</p>  | <p>[現在のドライバを使う]か[新しいドライバに置き換える]が選択してください。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> <p>※最新ドライバを別途インストールされた場合は[新しいドライバに置き換える]を選択してください。</p> |
| <p>11</p> | <p>プリンタ名を登録します。</p>  | <p>プリンタ名の登録を行います。</p> <p>このプリンタを通常使うプリンタとするか選択してください。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> |
| <p>12</p> | <p>プリンタを共有するかを選択します。</p>  | <p>プリンタを共有するか共有しないかを選択してください。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> <p>※同じネットワーク内にある他のコンピュータからもこのプリンタをご使用になる場合は、「共有する」を選択してください。</p> |

| | | |
|--|--|---|
| <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">13</p> | <p>テストページを印刷するかを選択します。</p>  | <p>テストページを印刷する場合は、[はい]を選択してください。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> |
| <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">14</p> | <p>設定を確認します。</p>  | <p>[完了]をクリックしてください。</p> <p>「13」で[はい]を選択した場合、プリンタのテストページが正常に出力されれば、設定完了です。</p> <p>※プリンタドライバのポート設定で [双方向サポートを有効にする] のチェックをはずしてください。</p> |

4.2 LPR ポートで印刷する

LPR 印刷機能を使用して印刷する場合は LPR Port を追加する必要があります。

4.2.1 LPR ポートの追加

Windows Vista 以降の OS（サーバーOS 除く）の場合

Windows Vista 以降の OS をご利用の場合は、LPR ポートモニタを追加する必要があります。

1. [スタート](※1) - [コントロールパネル] - [プログラム] - [Windows の機能の有効化または無効化] を選択します。

(※1) Windows Vista/7 の場合 :

デスクトップ画面左下の Windows ロゴがついたボタンをクリックします。

Windows 8 以降の OS の場合 :

[Windows ロゴ] キー + [X] キーを押し、画面左下にショートカットメニューを表示させます。

Windows 10 (ver1703~) 以降のとき :

画面左下の [Windows ロゴボタン] をクリックし、[Windows System ツール] を選択します。

Windows 11 のとき :

画面下中央の [Windows ロゴボタン] をクリックし、[設定] - [アプリ] - [オプション機能] - [関連設定] - [Windows のその他の機能] を選択します。

2. 「ユーザーアカウント制御画面」が表示された場合は、[はい] または [続行] を選択してください。
3. Windows の機能画面で、[印刷とドキュメントサービス](※2) - [LPR ポートモニター] を選択して、[OK] をクリックしてください。

(※2) Windows Vista の場合: [印刷サービス]

Windows Server 2008 以降の OS の場合

Windows Server 2008 以降の OS の場合は、LPR ポートモニタを追加する必要があります。

1. [スタート](※1) - [コントロールパネル] - [プログラム] - [Windows の機能の有効化または無効化] を選択します。

(※1) Windows Server 2012 以降の OS の場合 :

[Windows ロゴ] キー + [X] キーを押し、画面左下にショートカットメニューを表示させます。

Windows 10 (ver1709~) Windows Server 2019 以降の OS の場合 :

画面左下の [Windows ロゴボタン] をクリックし、[Windows System ツール] を選択します。

2. 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい] または [続行] を選択してください。
3. サーバーマネージャの [機能の概要] - [機能の追加] - [LPR ポートモニター] を選択して、[次へ] をクリックしてください。インストールオプションの確認で [インストール] をクリックしてください。

※Windows Server 2012 以降の OS の場合: [役割と機能の追加ウィザード] の、[機能の選択] から [LPR ポートモニター] を選択します。

4. [インストールが正常に完了しました] が表示されたら [閉じる] をクリックしてください。

Windows 2000/XP/WEPOS/Server 2003 の場合

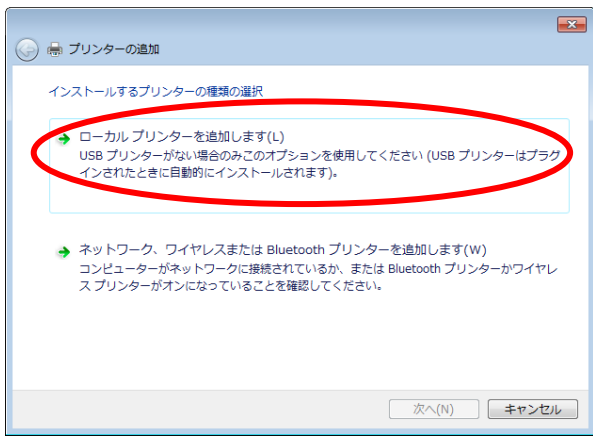
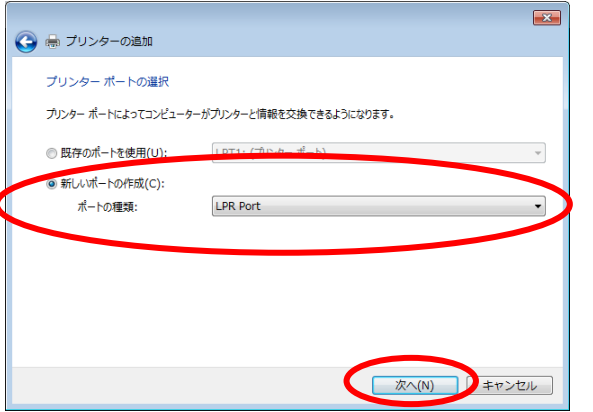
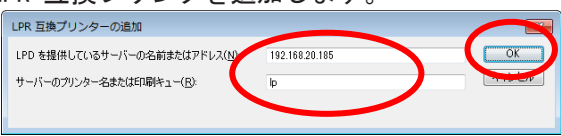
1. [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除]を開きます。
※Windows2000 の場合 : [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [アプリケーションの追加と削除]
2. [Windows コンポーネントの追加と削除]をクリックします。
3. [Windows コンポーネントウィザード]を表示させ、[コンポーネント] - [その他のネットワークファイルと印刷サービス] - [詳細] - [UNIX 用印刷サービス]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。
4. 次へ進み「Windows コンポーネントウィザード」が表示され、コンポーネントの追加が終わりましたら[完了]ボタンをクリックしてください。

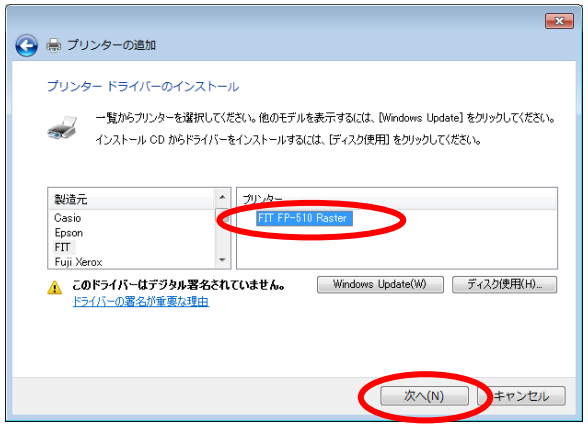
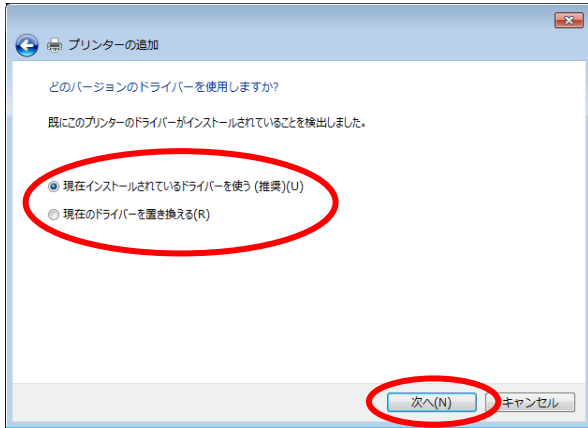
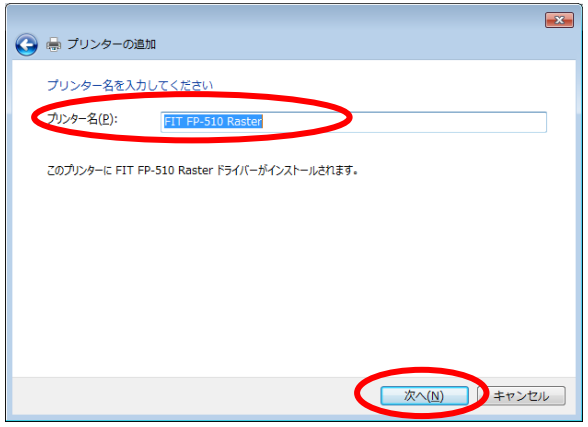
4.2.2 LPR ポートの設定

※ご使用のパソコンに、あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。
 ※OS 標準の印刷クライアント機能では、「Popup Status Monitor」をご利用することはできません。

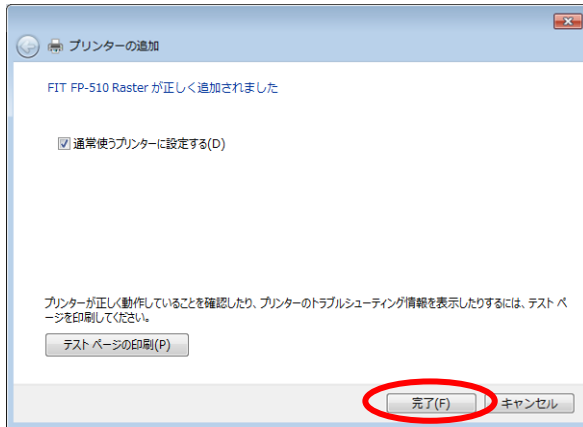
【Windows Vista 以降の OS の場合】

※以下の説明は、Windows 7 の画面で行っておりますので、その他の OS をご利用の場合、画面が異なります。

| | | |
|----------|--|---|
| <p>1</p> |  | <p>[プリンタの追加]画面を開きます。その後、[ローカルプリンタを追加します]を選択します。</p> <p>※Windows 8以降のOSの場合、[プリンタの追加]をクリック後、[探しているプリンタはこの一覧にはありません]または[プリンタが一覧にない場合]をクリックし、[ローカルプリンタまたはネットワークプリンタを手動設定で追加する]にチェックします。</p> |
| <p>2</p> | <p>プリンタポートを選択します。</p>  | <p>[新しいポートの作成]にチェックを入れ、種類は[LPR Port]を選択します。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> |
| <p>3</p> | <p>LPR 互換プリンタを追加します。</p>  | <p>本製品に設定したIPアドレスと「lp」を入力してください。</p> <p>[OK]をクリックしてください。</p> |

| | | |
|----------|---|--|
| <p>4</p> | <p>プリンタドライバを選択します。</p>  | <p>ご使用になるプリンタのドライバを選択してください。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> |
| <p>5</p> | <p>プリンタドライバを確認します。</p>  | <p>[現在インストールされているドライバを使う]または[現在のドライバを置き換える]を選択してください。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> <p>※最新ドライバを別途インストールされた場合は[現在のドライバを置き換える]を選択してください。</p> |
| <p>6</p> | <p>プリンタ名を登録します。</p>  | <p>プリンタ名の登録を行います。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> <p>※Windows Vistaをご利用の場合 本画面で通常使うプリンタを設定することが可能です。 Windows 7以降のOSをご利用の場合は、次の画面で設定が可能です。</p> <p>※[次へ]をクリック後、プリンタ共有画面が表示された場合は、必要に応じて共有設定を行い、[次へ]をクリックしてください。 同じネットワーク内にある他のコンピュータからもこのプリンタをご使用になる場合は、「共有する」を選択してください。</p> |

7



必要に応じて、テストページの印刷及び通常使うプリンターを設定し、[完了]をクリックしてください。設定完了です。

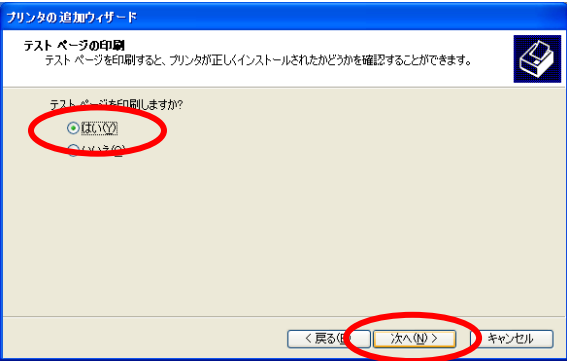
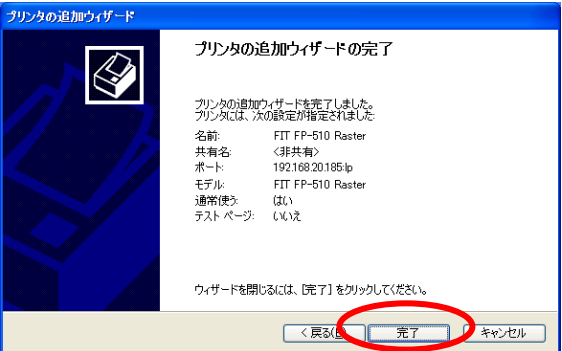
※プリンタドライバのポート設定で [双方向サポートを有効にする] のチェックをはずしてください。

【Windows XP 以前の OS の場合】

※以下の説明は、Windows XP Professional の画面で行っておりますので、その他の OS をご利用の場合、画面が異なります。

| | | |
|----------|--|---|
| <p>1</p> |  | <p>[プリンタの追加] 画面を開きます。 [次へ] をクリックしてください。</p> |
| <p>2</p> | <p>設定するプリンタの種類を選びます。</p>  | <p>[このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を選択し、[プラグアンドプレイ対応プリンタを...] のチェックを外してください。 [次へ] をクリックしてください。 ※Windows 2000 をご利用の場合は、[ローカルプリンタ] を選択し、[プラグアンドプレイ対応プリンタを...] のチェックを外してください。</p> |
| <p>3</p> | <p>プリンタポートを選択します。</p>  | <p>[新しいポートの作成] にチェックを入れ、種類は [LPR Port] を選択してください。 [次へ] をクリックしてください。</p> |
| <p>4</p> | <p>LPR 互換プリンタを追加します。</p>  | <p>本製品に設定した IP アドレスと「lp」を入力してください。 [OK] をクリックしてください。</p> |

| | | |
|----------|--|--|
| <p>5</p> | <p>プリンタのドライバを選択します。</p>  | <p>ご使用になるプリンタのドライバを選択してください。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> |
| <p>6</p> | <p>プリンタドライバを確認します。</p>  | <p>[現在のドライバを使う]か、[新しいドライバに置き換える]か選択してください。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> <p>※最新ドライバを別途インストールされた場合は、[新しいドライバに置き換える]を選択してください。</p> |
| <p>7</p> | <p>プリンタ名を登録します。</p>  | <p>プリンタ名を入力してください。</p> <p>このプリンタを通常使うプリンタとするかを選択してください。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> |
| <p>8</p> | <p>プリンタを共有するかを選択します。</p>  | <p>プリンタを共有するか共有しないかを選択してください。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> <p>※同じネットワーク内にある他のコンピュータからもこのプリンタをご使用になる場合は、「共有する」を選択してください。</p> |

| | | |
|--|--|--|
| <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">9</p> | <p>テストページを印刷するかを選択します。</p>  | <p>テストページを印刷する場合は、[はい]を選択してください。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> |
| <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">10</p> | <p>設定内容を確認します。</p>  | <p>[完了]をクリックしてください。</p> <p>「9」で[はい]を選択した場合、プリンタのテストページが正常に印刷されれば、設定完了です。</p> <p>※プリンタドライバのポート設定で [双方向サポートを有効にする] のチェックをはずしてください。</p> |

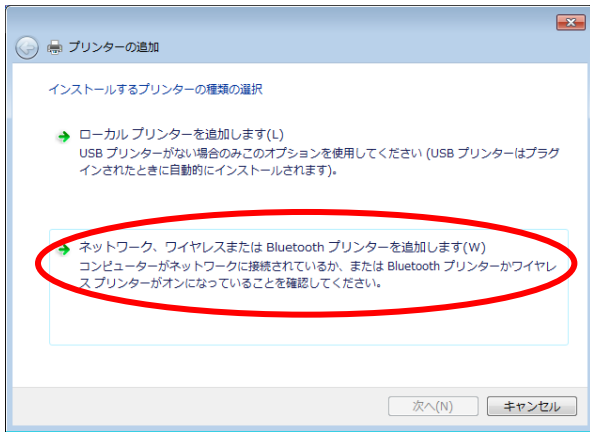
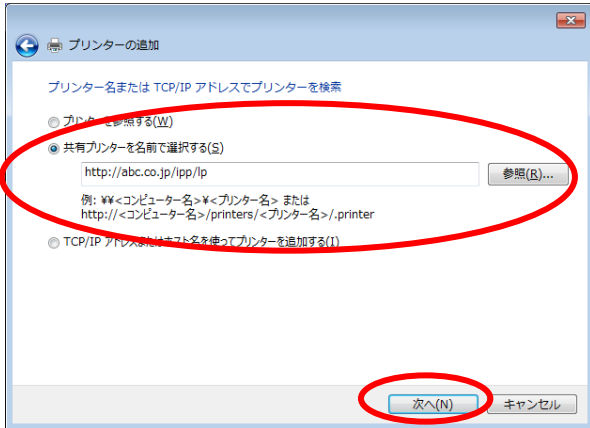
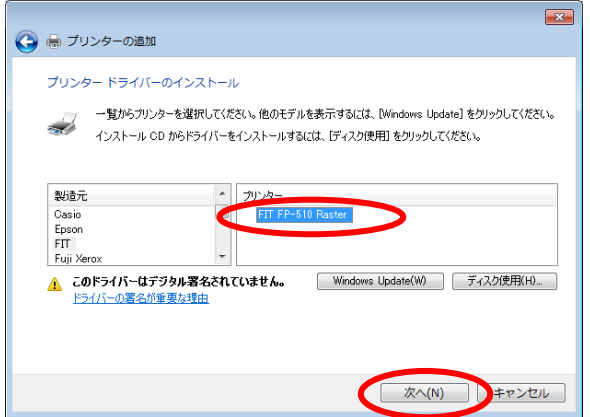
4.3 IPP ポート

Windows Server 2008 以降のサーバ OS ご利用の場合は、「インターネット印刷クライアント」機能がインストールされている必要があります。あらかじめインストールしてください。

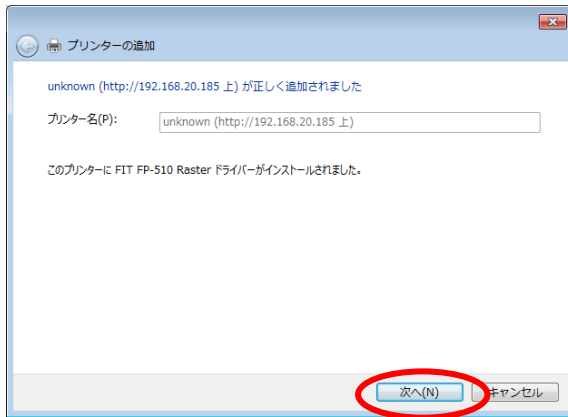
※ご使用のパソコンに、あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。
 ※プリンタ本体に添付されているユーティリティは IPP ポートには対応しておりません。

【Windows Vista以降のOSの場合】

※以下の説明は、Windows 7の画面で行っておりますので、その他のOSをご利用の場合、画面が異なります。

| | | |
|----------|--|---|
| <p>1</p> |  | <p>[プリンタの追加]画面を開きます。その後、[ネットワーク、ワイヤレスまたはBluetooth プリンターを追加します]し、[探しているプリンターはこの一覧にはありません]を選択してください。</p> <p>※Windows 8以降のOSをご利用の場合は、[プリンターの追加]をクリック後、[探しているプリンターはこの一覧にはありません]または[プリンターが一覧にない場合]を選択してください。</p> |
| <p>2</p> | <p>プリンタポートを選択します。</p>  | <p>[共有プリンターを名前を選択する]を選択し、本製品のURLまたはIPアドレスを指定します。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> <p>例) URLが「abc.co.jp」の場合、 http://abc.co.jp/ipp/lpまたは http://abc.co.jp /ipp</p> <p>例) IPアドレスが「192.168.20.185」の場合、 http://192.168.20.185/ipp/lpまたは http://192.168.20.185/ipp</p> |
| <p>3</p> | <p>プリンタドライバを選択します。</p>  | <p>ご使用になるプリンタのドライバを選択してください。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> |

4



プリンタ名を確認し、[次へ]をクリックしてください。

※Windows Vistaをご利用の場合

本画面で通常使うプリンタを設定することが可能です。

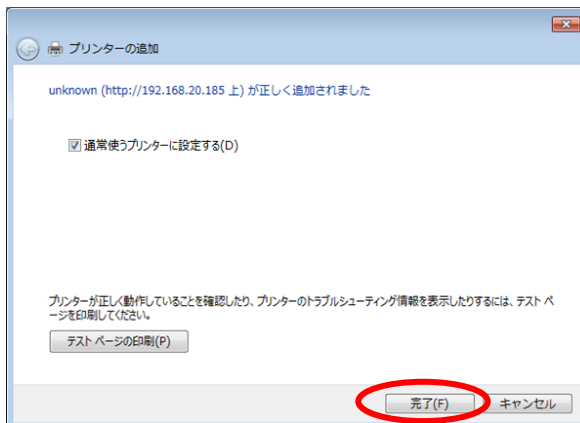
Windows 7以降のOSをご利用の場合は、次の画面で設定が可能です。

※[次へ]をクリック後、プリンタ共有画面が表示された場合は、必要に応じて共有設定を行い、[次へ]をクリックしてください。

同じネットワーク内にある他のコンピュータからもこのプリンタをご使用になる場合は、「共有する」を選択してください。

※「Adminmanager」のプリントサーバの設定および、Webブラウザによる設定の SNMPの設定の中のSysNameに設定されたものが表示されます。SysNameが設定されていない場合は、「unknown」と表示されます。

5



必要に応じて、テストページの印刷及び通常使うプリンタを設定し、[完了]をクリックしてください。

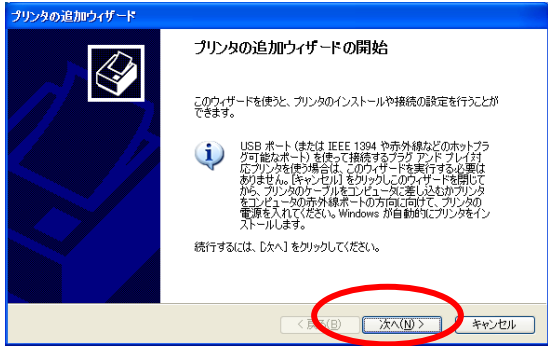
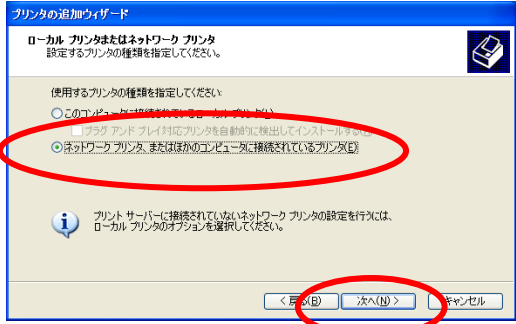
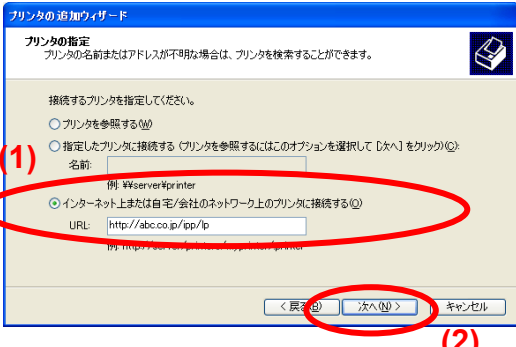
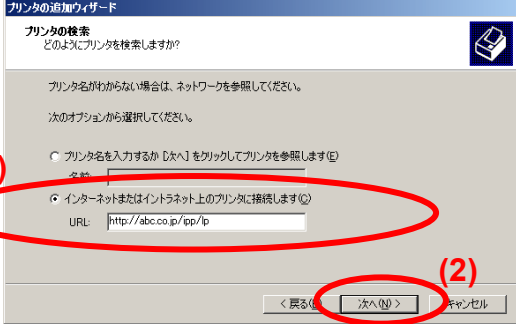
設定完了です。

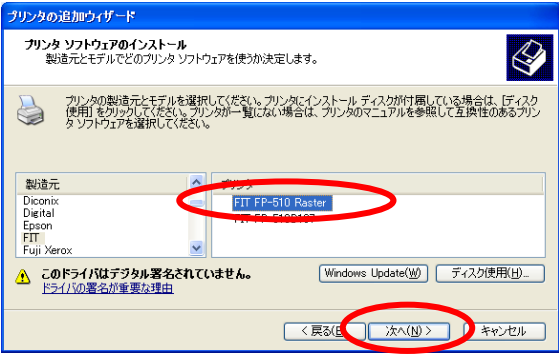
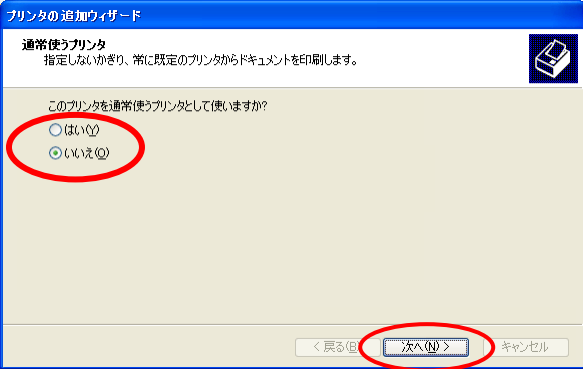
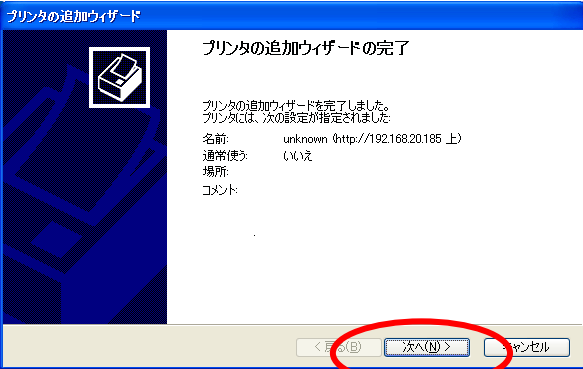
※プリンタドライバのポート設定で [双方向サポートを有効にする]のチェックをはずしてください。

※印刷ポートにOS標準のIPPポートを使用した場合、正しく印刷されない場合があります。注意この場合には専用ポート (PR-PortManager) を使用してください。

【Windows XP以前のOSの場合】

※以下の説明は、Windows XP Professionalの画面で行っておりますので、その他のOSをご利用の場合、画面が異なります。

| | | |
|----------|--|--|
| <p>1</p> |  | <p>[プリンタの追加]画面を開きます。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> |
| <p>2</p> | <p>設定するプリンタの種類を選択します。</p>  | <p>[ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ]を選択してください。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> <p>※Windows 2000 をご利用の場合は、[ネットワークプリンタ]を選択してください。</p> |
| <p>3</p> | <p>本製品のアドレスを入力します。</p>  <p>(1)</p> <p>(2)</p> <p>Windows 2000 の場合</p>  <p>(1)</p> <p>(2)</p> | <p>(1) [インターネット上または自宅／会社のネットワーク上のプリンタに接続する]を選択し、本製品のURLまたはIPアドレスを指定してください。</p> <p>※Windows 2000の場合：[インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します]を選択し、本製品のURLまたはIPアドレスを指定してください。</p> <p>(2) [次へ]をクリックしてください。</p> <p>例) URLが「abc.co.jp」の場合、 http://abc.co.jp/ipp/lpまたは http://abc.co.jp /ipp</p> <p>例) IPアドレスが 「192.168.20.185」の場合、 http://192.168.20.185/ipp/lp または http://192.168.20.185/ipp</p> |

| | | |
|----------|--|--|
| <p>4</p> | <p>プリンタドライバを選択します。</p>  | <p>ご使用になるプリンタのドライバを選択してください。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> |
| <p>5</p> | <p>通常使うプリンタとするか選択します。</p>  | <p>通常使うプリンタとするか選択してください。</p> <p>[次へ]をクリックしてください。</p> |
| <p>6</p> | <p>設定完了です。</p>  | <p>[次へ]をクリックしてください。</p> <p>※Windows 2000では、IPPポートにてプリンタドライバより取得した名前となりますが、Windows XP以降のOSでは、「Adminmanager」のプリントサーバの設定および、Webブラウザによる設定の SNMPの設定の中のSysNameに設定されたものが表示されます。SysNameが設定されていない場合は、「unknown」と表示されます。</p> <p>プリンタドライバのポート設定で「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずしてください。</p> <p>※印刷ポートにOS標準のIPPポートを使用した場合、正しく印刷されない場合があります。注意この場合には専用ポート (PR-PortManager) を使用してください。</p> |

5 AdminManager で設定する

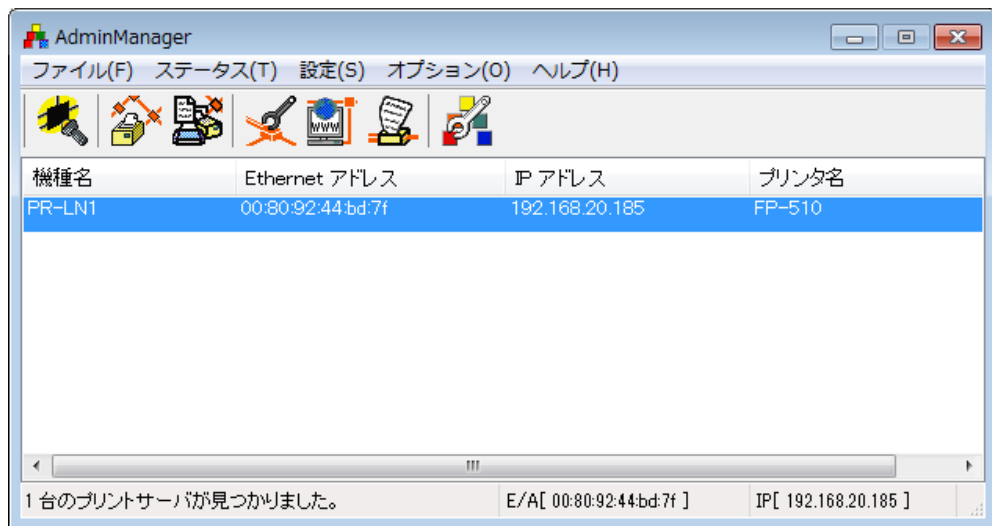
本章では「AdminManager」を利用して、詳細な設定を行う方法について説明します。

5.1 AdminManager を使用する

総合ユーティリティ「AdminManager」は、本製品の詳細な設定及び設定内容の変更を行うことができます。また、リモートでの再起動やメールの設定、プリンタステータスマニタなどの便利な機能をご利用いただくことができます。

※「AdminManager」をご利用になる場合、ご使用のパソコンに TCP/IP プロトコルがインストールされている必要があります。

※以下の説明は、Windows 7 で FP-510 を使用した場合の画面で行っております。ご利用の環境および、ご使用の機種によっては、「AdminManager」に表示される内容が異なります。



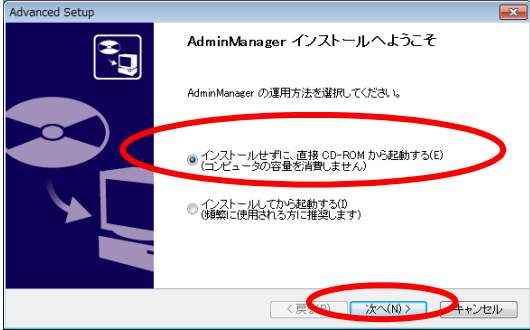

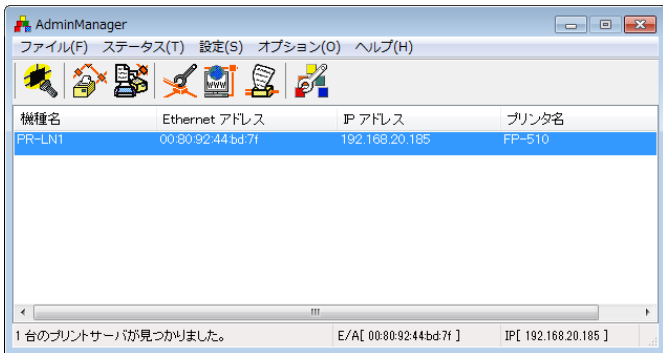
※Windows XP、Windows Server 2003 環境で TCP/IP プロトコルをご利用になる場合は、[ローカルエリア接続のプロパティ] - [詳細設定] - [インターネットからのこのコンピュータへのアクセスを制御したり...]のチェックを外してください。

※Windows Vista 以降の OS をご利用の場合、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、[許可]または[はい]を選択してください。

5.1.1 AdminManager を起動する

プリンタ付属の CD-ROM からインストーラを起動します。インストール項目選択画面で [Admin Manager - LAN] をチェックし、[インストール] をクリックします。

※インストール項目選択画面までの操作手順はインストールガイドの「3.3 インストール手順」を参照してください。

| | | |
|----------|--|---|
| <p>1</p> | <p>インストール確認画面が表示されます。</p>  | <p>[インストールせずに、直接 CD-ROM から起動する] を選択してください。</p> <p>※「AdminManager」を頻りに使用される方は、[インストールしてから起動する] を選択して、ご利用のパソコンにインストールすることをお奨めします。[インストールしてから起動する] を選択した場合、ウィザードに従ってインストールを行ってください。</p> |
| <p>2</p> | <p>ソフトウェア使用許諾契約書を確認します。</p>  | <p>[はい] をクリックしてください。</p> <p>※Windows XP (SP2) 以降の OS 環境では下記のメッセージが表示されますので [はい] をクリックしてください。</p> <p>「このアプリケーションを使用するには、Windows ファイアウォールの例外リストに登録する必要があります。アプリケーションを例外リストに登録しますか?」</p> |
| <p>3</p> |  | <p>「AdminManager」が起動します。</p> <p>※インストールしてから起動する場合、起動手順はインストールガイドの「4.6 AdminManager」を参照してください。</p> |

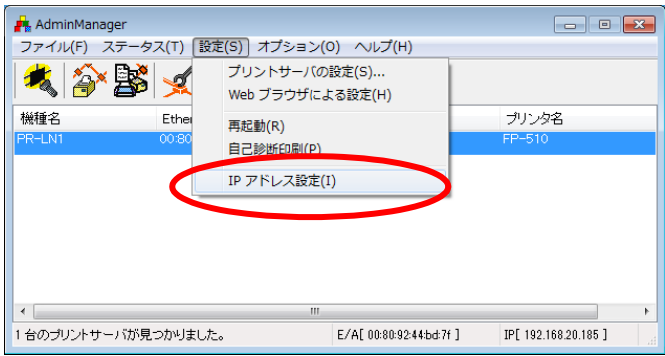
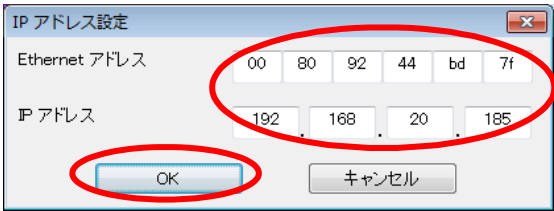
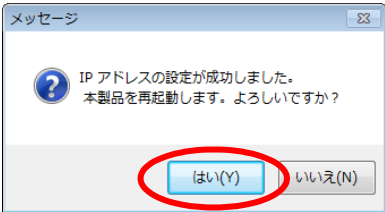
5.1.2 AdminManager で本製品を検索する

本製品の設定を行う前に、「AdminManager」で本製品が検索されることをご確認ください。

＜IP アドレスの設定を手動で行う＞

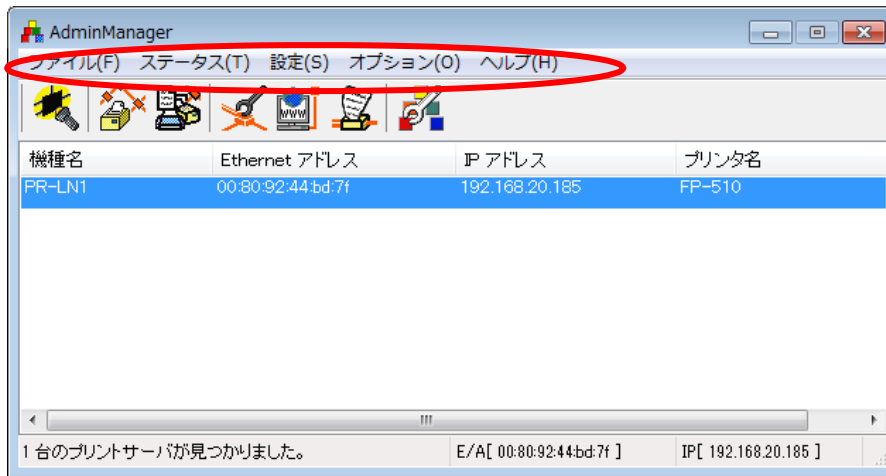
本設定を行う前に、本製品の Ethernet アドレスをご確認ください。Ethernet アドレスは本製品のシール表示を確認してください。

初期導入または他機種のプリンタで使用されていた本製品を流用してお使いになる場合、検索で表示される本製品のプリンタ名が実際と異なるプリンタ名で検出されることがあります。その場合は、設定を行う前に本製品を初期化してください。（本製品の初期化に関しては、「5.2 AdminManager で本製品の設定を行う」を参照してください）

| | | |
|----------|---|--|
| <p>1</p> |  | <p>「AdminManager」のメニューバーから [設定] - [IP アドレス設定] を選択して IP アドレス設定ツールを起動してください。</p> |
| <p>2</p> |  | <p>設定する製品の Ethernet アドレスと IP アドレスを入力してください。</p> <p>[OK] をクリックしてください。</p> |
| <p>3</p> |  | <p>設定した IP アドレスを有効にするために本製品をリセットします。</p> <p>[はい] をクリックしてください。</p> <p>※ 「AdminManager」の再起動処理はプリンタの機種によっては動作しないことがあります。この場合、プリンタの電源を再投入してください。</p> |

5.1.3 AdminManager の機能

<AdminManager メニュー構成>



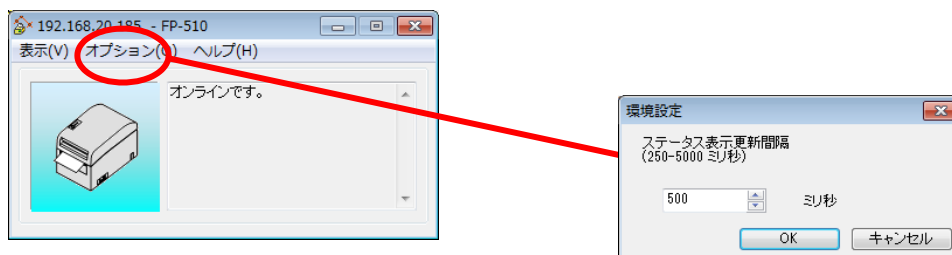
※ご利用の環境および、本製品の機種によっては、「AdminManager」に表示される内容が異なります。

| メニュー | 項目 | 説明 |
|-------|--------------|---------------------------|
| ファイル | 検索 | ネットワーク上の本製品を検索します。 |
| | 終了 | AdminManager を終了します。 |
| ステータス | プリンタステータス | プリンタステータスマニタを表示します。 |
| | システムステータス | システムステータスマニタを表示します。 |
| | 設定項目一覧表示 | 本製品の内部設定情報を表示します。 |
| 設定 | プリントサーバの設定 | 本製品の各種設定をします。 |
| | Webブラウザによる設定 | 本製品のホームページを起動します。 |
| | 再起動 | 本製品の再起動を行います。 |
| | 自己診断印刷 | 本製品の自己診断印刷を実行します。 |
| | IPアドレス設定 | IPアドレスの手動設定を行います。 |
| オプション | 環境設定 | AdminManagerの環境設定を行います。 |
| ヘルプ | バージョン表示 | AdminManagerのバージョンを表示します。 |

※自己診断印刷機能は使用しないでください。

<プリンタステータス>

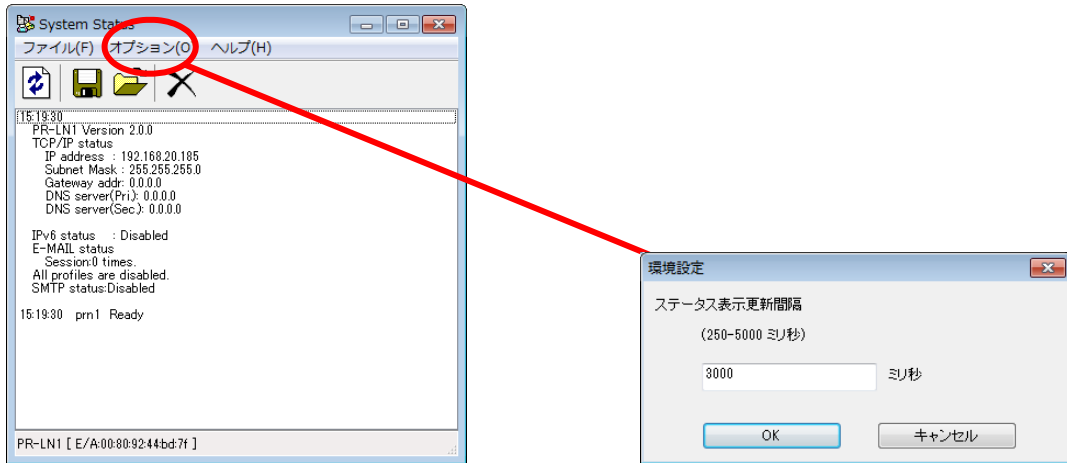
AdminManager 画面にて選択した本製品が接続しているプリンタの状態が、リアルタイムに表示されます。また、環境設定画面にて、プリンタステータスの更新時間を指定することができます。



※プリンタの機種によっては、プリンタの状態を正常に取得できない場合があります。

〈システムステータス〉

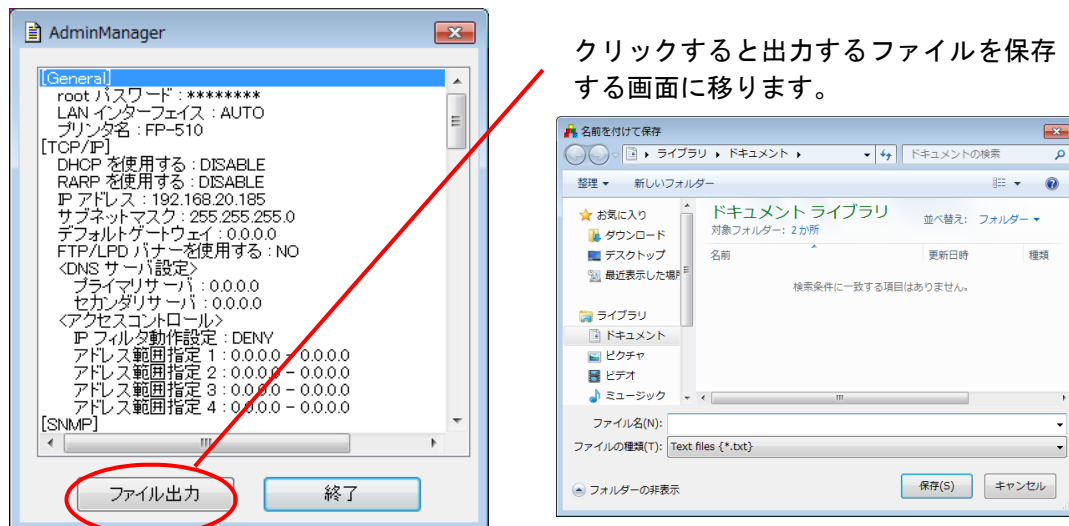
AdminManager 画面にて選択した本製品の動作状態がリアルタイムに表示されます。本製品の動作状態をファイルに保存(ログの登録)し、参照することができます。また、環境設定画面にて、システムステータスの更新時間を指定することができます。



※ご利用の本製品の機種によっては表示される項目が異なります。

〈設定項目一覧表示〉

本製品に設定した各項目の設定値が一覧で表示されます。設定内容をファイル出力し、管理することができます。



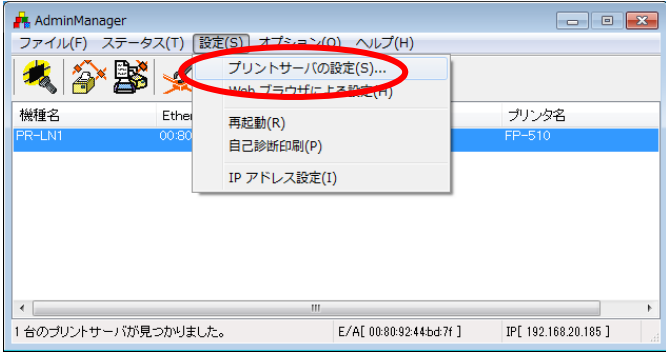
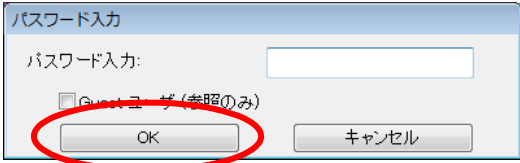
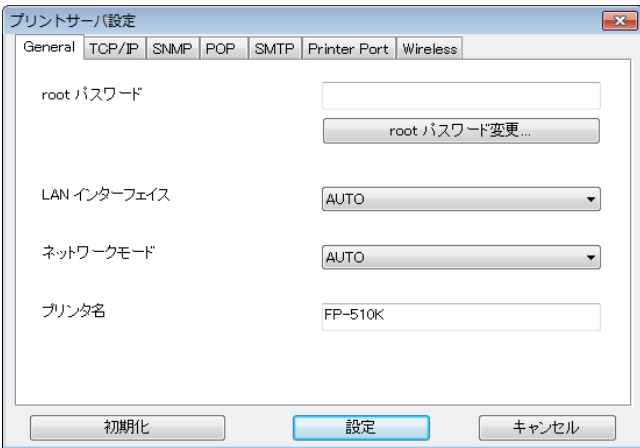
クリックすると出力するファイルを保存する画面に移ります。

※ご利用の本製品の機種によっては表示される項目が異なります。

5.2 AdminManager で本製品の設定を行う

「AdminManager」の[設定] - [プリントサーバの設定]で本製品の詳細設定および設定内容の変更を行います。

※以下の説明は、PR-LN1W で設定する場合の画面で行っております。ご利用の環境および、ご使用の機種によっては、「AdminManager」に表示される内容が異なります。

| | | |
|----------|--|---|
| <p>1</p> |  | <p>設定を行う本製品を指定し、「AdminManager」のメニューバーから[設定] - [プリントサーバの設定]を選択してください。</p> |
| <p>2</p> | <p>パスワード入力画面</p>  | <p>本製品にパスワードが設定されている場合、[パスワード入力]画面が表示されます。</p> <p>[OK]をクリックしてください</p> <p>※パスワードの初期値は空白で結構です。</p> <p>※[Guest ユーザ]チェックボックスをチェックした場合は設定情報を確認することはできませんが、設定内容の変更は行えません。</p> |
| <p>3</p> |  | <p>左の画面が表示されます。設定を行いたいタブを選択し、設定を行ってください。</p> <p>※初期化について [初期化]をクリックすると、本製品を工場出荷設定に戻します。パスワードが未設定の場合でも、パスワード入力画面が表示されますが、空白のままとしてください。</p> <p>※PR-LN1W でお使用の場合、[ネットワークモード]の項目は表示されません。</p> |

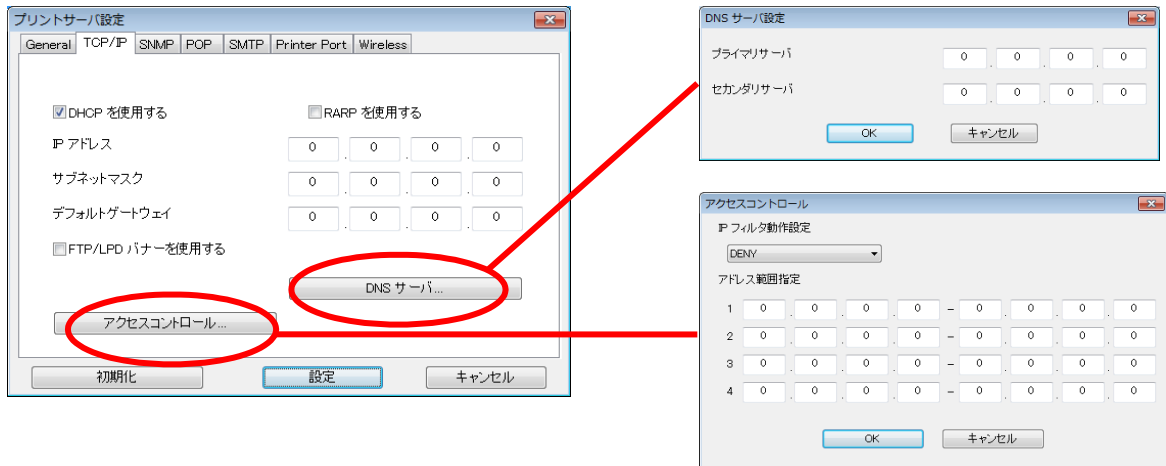
<General の設定>

ネットワークの一般的な設定を行います。

| 項目 | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|------------------------|---|--------|
| root パスワード | 本製品の管理パスワードを ASCII 文字列 (7 文字以内) で設定します。このパスワードは「AdminManager」、Web で設定を行う際の認証パスワードとして使用します。 | なし |
| root パスワード変更 | パスワードの変更を行います。 | - |
| LAN インタフェース | 物理ネットワークの種別を設定します。通常は AUTO で使用してください。本製品の電源投入時に本製品が接続される HUB の LINK ランプが点灯しない場合は、この設定を接続 HUB のネットワーク種別に変更します。 | AUTO |
| ネットワークモード (PR-LN1W のみ) | AUTO/WIRED/WIRELESS より、ネットワークへの接続方法を指定します。「AUTO」に設定すると、LAN ケーブルの接続状態に応じて有線接続または無線接続を自動的に選択します。「WIRED」は有線接続のみ、「WIRELESS」は無線接続のみの固定接続となります。 | AUTO |
| プリンタ名 | プリンタ名を設定します。(半角最大 31 文字、全角最大 15 文字) | なし |

<TCP/IP の設定>

IP アドレス等、TCP/IP プロトコルを使用するための設定、およびセキュリティ機能を強化するために、IP アドレスによるアクセスコントロールに関する設定を行います。

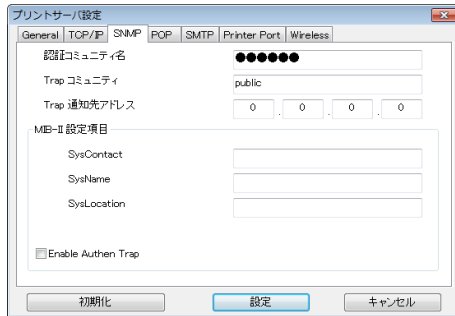


| 項目 | | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|-----------------|------------|---|---------|
| DHCP を使用する | | DHCP プロトコルの有効 (ENABLE)、無効 (DISABLE) を設定します。 | ENABLE |
| RARP を使用する | | 本製品では、RARP は未サポートです。本設定は変更しないでください。 | DISABLE |
| IP アドレス | | 本製品の IP アドレスを 10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。 | 0.0.0.0 |
| サブネットマスク | | 本製品のサブネットマスクを 10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」は無効になり、IP アドレスに応じたサブネットマスクが自動的に使用されます。 | 0.0.0.0 |
| デフォルトゲートウェイ | | 本製品のデフォルトゲートウェイを10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」は無効になります。 | 0.0.0.0 |
| FTP/LPDバナーを使用する | | FTPまたはLPD印刷時にバナーページの印刷を行う (ENABLE) か、行わない (DISABLE) かを設定します。 | DISABLE |
| DNSサーバ | プライマリサーバ | DNSサーバ(プライマリ)のアドレスを設定します。POP/SMTPサーバ名をIPアドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。 | 0.0.0.0 |
| | セカンダリサーバ | DNSサーバ(セカンダリ)のアドレスを設定します。POP/SMTPサーバ名をIPアドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。 | 0.0.0.0 |
| アクセスコントロール | IPフィルタ動作設定 | IPフィルタの動作を設定します。設定には「allow」と「deny」があり、「allow」にすると設定したIPアドレス範囲からのみデータを受けとります。「deny」にすると設定したIPアドレス範囲からのデータを受けとりません。 | DENY |
| | アドレス範囲指定 | IPフィルタの範囲を設定します。フィルタしたいIPアドレスの範囲は4組まで設定できます。 | 0.0.0.0 |

※DHCP プロトコルで使用する場合は、[RARP を使用する]設定を無効にしてください。

<SNMP の設定>

ネットワーク経由で管理を行なうための設定を行います。



| 項目 | | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|--------------|--------------------|---|---------|
| 認証コミュニティ名 | | SNMP の認証コミュニティ名を設定します。このコミュニティ名は SNMP Set Request を受け付けるときに認証されます。(半角で最大 15 文字) | public |
| Trap コミュニティ | | SNMP のトラップコミュニティを設定します。このコミュニティ名は本製品がトラップを発行するときに使用されます。(半角で最大 15 文字) | public |
| Trap 通知先アドレス | | SNMP トラップの送信先 IP アドレスを設定します。設定値は、10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になり、いかなる場合でもトラップは発行されなくなります。 | 0.0.0.0 |
| MIB-II 設定項目 | SysContact | SysContact を設定します。通常は管理者のメールアドレスを設定します。(半角で最大 255 文字、全角で最大 127 文字) | なし |
| | SysName | SysName を設定します。通常は本製品のホスト名またはドメイン名を設定します。(半角で最大 255 文字、全角で最大 127 文字) | なし |
| | SysLocation | SysLocation を設定します。通常は本製品のある場所を設定します。(半角で最大 255 文字、全角で最大 127 文字) | なし |
| | Enable Authen Trap | Enable AuthenTrapの有効(ENABLE)、無効(DISABLE)を設定します。この設定を有効(ENABLE)にすると、SNMPでコミュニティ違反が発生した時、SNMPトラップが「Trap通知先アドレス」で設定したIPアドレスに向けて発信されます。 | DISABLE |

※本製品では以下のトラップをサポートしています。

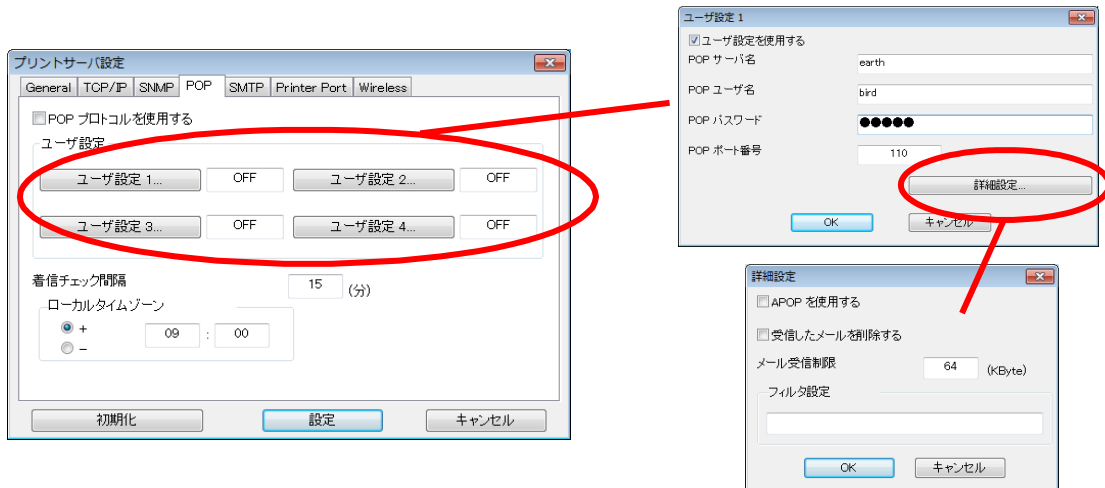
- ・ coldStart (電源投入時、発行するトラップ)
- ・ authenticationFailure (認証エラー時、発行するトラップ)
- ・ enterpriseSpecific (プリンタエラー時、発行するトラップ)

※本製品から発行されたトラップを SNMP マネージャが受信するためには、両方が同じコミュニティ(管理グループ)に存在することが必要です。コミュニティ名が空白または不一致の場合は、SNMP マネージャはトラップを受信できませんのでご注意ください。

※セキュリティ対策のため、初期値(public)を変更することをおすすめします。情報の設定は、全角文字の入力も可能ですが、記号(雑「Tel」など)や半角カナには対応していません。また、お使いの環境によっては正しく表示されない場合があるので、半角英数字での入力をおすすめします。

<POP の設定>

メールサーバにあるメールを受信するための設定を行います。



| 項目 | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|----------------|--|---------|
| POP プロトコルを使用する | POPプロトコル(メール受信機能)の有効(ENABLE)、無効(DISABLE)を設定します。 | DISABLE |
| ユーザ設定(1-4) | 各ユーザのメール受信機能の有効(ENABLE)、無効(DISABLE)を設定します。 | DISABLE |
| POP サーバ名 | メールサーバのホスト名(または IP アドレス)を設定します。ドメイン名を使用する場合は DNS サーバの設定が必要です。(半角で最大 78 文字) | なし |
| POP ユーザ名 | メールアカウントのログイン名(ユーザ名)を設定します。(半角で最大31文字) | なし |
| POP パスワード | メールサーバに接続する際に使用するパスワードを設定します。(半角で最大31文字) | なし |
| POP ポート番号 | POPポート番号を設定します。通常はデフォルト値(110)で使用してください。 | 110 |
| 着信チェック間隔(分) | メールサーバに着信を問い合わせる間隔を分単位で設定します。 | 15 |
| ローカルタイムゾーン | タイムゾーンを設定します。日本での使用は "+09:00" となります。 | +9:00 |

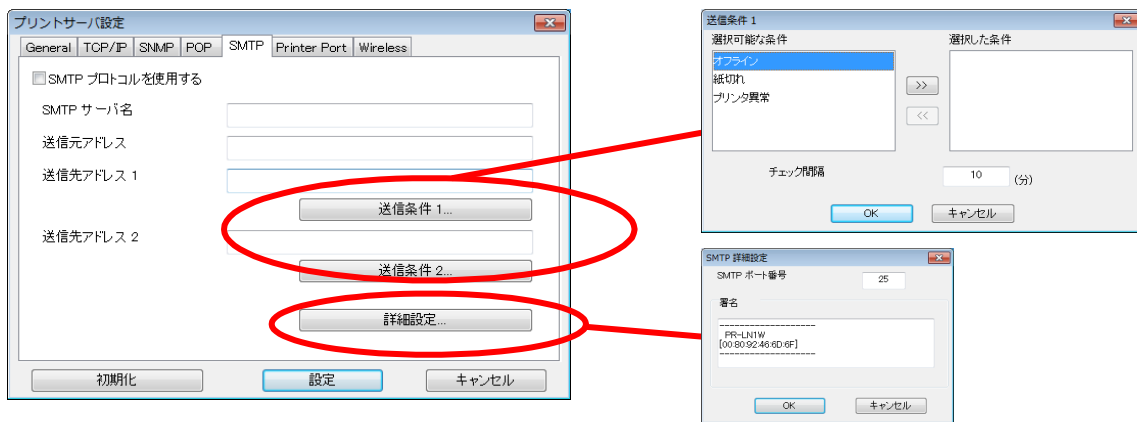
※メール受信機能を有効にした場合、受信したメールを印刷しますので用紙をセットしておくことをお奨めします。

詳細設定

| 項目 | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|--------------|--|---------|
| APOPを使用する | サーバで APOP 使用の有効(ENABLE)、無効(DISABLE)を設定します。APOP を利用するには、メールサーバが APOP に対応している必要があります。 | DISABLE |
| 受信したメールを削除する | 本製品が受信・印刷したメールをメールサーバ上から削除するかを有効(ENABLE)、無効(DISABLE)で設定します。添付ファイルのあるメールは、この設定を有効(ENABLE)にしてもメールは削除されません。 | DISABLE |
| メール受信制限 | 指定したサイズ以上のメールを、処理対象から除外します。処理対象から除外されたメールは、「受信したメールをサーバから削除」の項目をチェックしている場合でも削除されません。この項目に0を設定した場合は、サイズによる制限は行わず、全てのメールを処理対象とします。 | 64 |
| フィルタ設定 | 特定のメールのみ印刷するように設定します。ヌル(空文字列)の場合は、全てのメールが印刷の対象になります。タイトル条件(S:文字列)、宛先条件(T:文字列)、同報宛先条件(C:文字列)、送信元条件(F:文字列)の4種類のセンテンスをOR条件()または、AND条件(&)で接続した文字列で設定します。(半角で最大80文字、全角で最大40文字) | なし |

<SMTP の設定>

プリンタのオフライン状態や用紙切れ状態等を通知するための設定を行います。



| 項目 | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|----------------|---|---------|
| SMTPプロトコルを使用する | SMTPプロトコルの有効(ENABLE)、無効(DISABLE)を設定します。無効(DISABLE)にするとE-Mail送信機能が停止します。 | DISABLE |
| SMTPサーバ名 | SMTPサーバのホスト名を設定します。ホスト名にはドメイン名またはIPアドレスを入力します。ドメイン名を使用する場合はDNSサーバの設定が必要です。(半角で最大78文字) | なし |
| 送信元アドレス | 送信元のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを設定します。(半角で最大78文字) | なし |
| 送信先アドレス(1~2) | 送信先のメールアドレスを設定します。(半角で最大78文字) | なし |

送信条件 (1-2)

| 項目 | | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|--------|--------|--|--------|
| 選択条件 | オフライン | プリンタがオフラインになったときメールを送信します。 | OFF |
| | 用紙切れ | プリンタの用紙がなくなったときメールを送信します。 | OFF |
| | プリンタ異常 | プリンタに異常が発生したときメールを送信します。 | OFF |
| チェック間隔 | | イベントの記録があるかを一定間隔(分単位)でチェックします。この間隔内に1つ以上のイベントが発生した場合、その記録をまとめて送信します。 | 10 |

詳細設定

| 項目 | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|------------|--|-------------------------|
| SMTP ポート番号 | SMTP ポート番号を設定します。通常はデフォルト値(25)で使用してください。 | 25 |
| 署名 | メールの送信メッセージの文末に付加する文字列の内容を設定します。(半角で最大各 63 文字) 例) ----- PR-LN1 [00:80:92:XX:XX:XX] ----- | (製品名と Ethernet アドレス下6桁) |

メール形式例

```

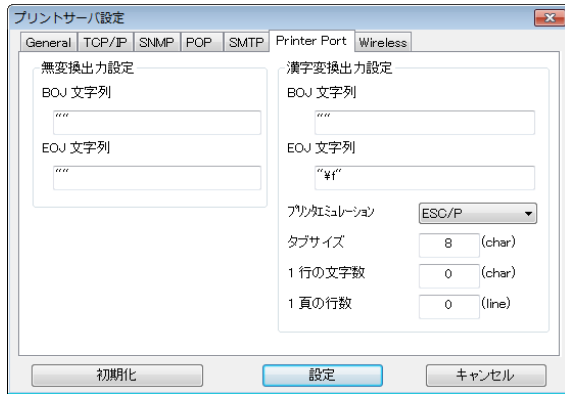
[SYSTEM STATUS]
PR-LN1 Version 1.1.0
TCP/IP status
  IP Address       : 192.168.1.230 (DHCP)
  Subnet Mask     : 255.255.255.0
  Gateway addr    : 192.188.1.10
DHCP Server      : 192.168.1.1
Lease time       : 259200sec
  DNS server (Pri.) : 192.188.1.1
  DNS Server (Sec.) : 192.168.1.2
E-MAIL status
  Session         : 1 times.
POP3 USER1
  NAME           : printia
  SEEVER        : 192.168.1.4:110(1st Session)
MODE : UIDL
  STATUS         : RETRO / DELETED 0 / FILTERED0
  RESULT        : Success
POP3 USER2
  RESULT        : Disabled
POP3 USER3
  RESULT        : Disabled
POP3 USER4
  RESULT        : Disabled
SMTP status
TO-ADDR1
  E-MAIL Address : <xxxxx@fit.fujitsu.com>
  Last Session   : Success
  Current status : Idle
  Try to send    : 3 times.
  Fail to send   : 0 times.
TO-ADDR2
  E-MAIL Address : <yyyyy@fit.fujitsu.com>
  Last Session   : Nothing
  Current status : Waiting for Interval time.
  Try to send    : 0 times.
  Fail to sendr  : 0 times.

[PRINTER STATUS]
00:04:27 <00101111> Not Ready (Busy PaperEmpty Fault) and Printing
00:03:08 <00101110> Not Ready (Busy PaperEmpty Fault)
00:03:03 <00100110> Not Ready (Busy Fault)
00:01:58 <00100110> Not Ready (Busy Fault)
-----
PR-LN1 [00:80:92:01:23:45]
-----

```


<PrinterPort の設定>

プリンタへ出力するための詳細設定を行います。



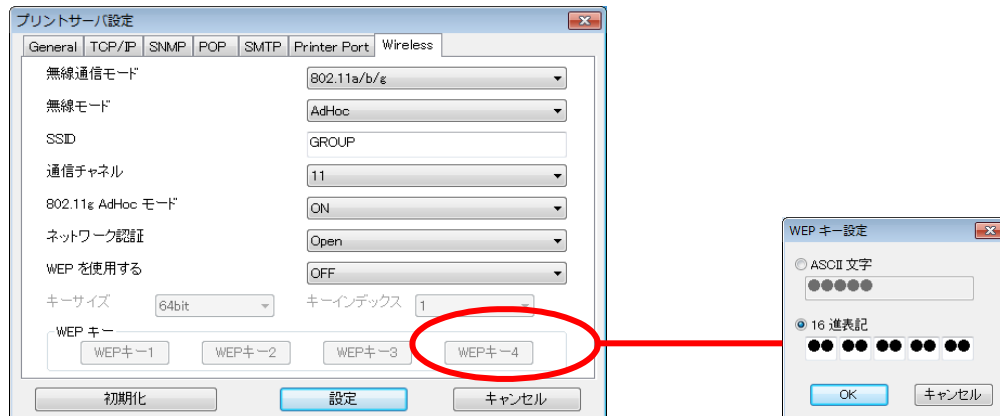
| 項目 | | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|----------|--------------|---|--------|
| 無変換出力設定 | B0J 文字列 | 直接出力ポート (lpポート) に出力する前に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。(半角で最大31文字) | なし |
| | E0J 文字列 | 直接出力ポート (lpポート) に出力した後に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷後に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。(半角で最大31文字) | なし |
| 漢字変換出力設定 | B0J 文字列 | 漢字フィルタ経由出力ポート (sjis/eucポート) に出力する前に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。(半角で最大31文字) | なし |
| | E0J 文字列 | 漢字フィルタ経由出力ポート (sjis/eucポート) に出力する後に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷後に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。(半角で最大31文字) | ¥f |
| | プリンタエミュレーション | プリンタのエミュレーション (PDL) に応じた設定をします。漢字フィルタ経由出力ポート (sjis/euc) に出力する際に、プリンタのエミュレーションに応じたコードに変換します。 | ESC/P |
| | タブサイズ | 漢字フィルタ経由で出力する時のタブコード (0x09) を半角スペース (0x20) に変換する文字数を設定します。この文字数を0にすると、タブ変換処理は行われません。設定値は、0~16です。 | 8 |
| | 1 行の文字数 | 漢字フィルタ経由で出力する時の 1 行の文字数を設定します。設定値は、0~255 です。 | 0 |
| | 1 頁の行数 | 漢字フィルタ経由で出力する時の 1 頁の行数を設定します。設定値は、0~255 です。 | 0 |

※B0J 文字列、E0J 文字列の定義は、ダブルコーテーション(" ")の間に入力してください。そのため、B0J 文字列、E0J 文字列にはダブルコーテーションは使用しないでください。(16 進表記も同様の扱いとなりますので使用しないでください)

<Wireless の設定>

無線 LAN 接続を行うための詳細設定を行います。

※PR-LN1W のみの機能です。PR-LN1 (有線 LAN) では本設定は使用できません。



Wireless の設定

| 項目 | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|-------------------|---|-------------|
| 無線通信モード | 無線LAN規格を802.11a/b/g、802.11a、802.11b/gから指定します。通信機器が使用する無線LAN規格とあわせておく必要があります。 | 802.11a/b/g |
| 無線モード | 無線モードを選択します。機器同士で接続を行う場合にはAdHoc(アドホックモード)を、アクセスポイントを経由して接続を行う場合にはInfra(インフラストラクチャモード)を選択します。 | AdHoc |
| SSID | 任意の文字列(最大32文字)を設定します。同じネットワーク環境に設置されている無線機器製品と同じ値を設定してください。 | GROUP |
| 通信チャンネル | 任意のチャンネルを選択します。AdHocモード時のみ指定できません。Infraモードでは、アクセスポイントの状態に応じて自動的に選択されます。選択できるチャンネルは無線通信モードの設定に従います。無線ネットワークのグループ間が隣接している環境の場合、チャンネルの周波数は5チャンネル以上離して設定することを推奨します。 | 11 |
| 802.11g AdHoc モード | 802.11g AdHocに対応する機器間で高速通信を行うことができます。802.11g AdHocに対応していない場合、通信が不安定になることがありますので、その場合はこの機能をOFFにしてください。 | ON |
| ネットワーク認証 | 無線LANの認証方式を設定します。Open、Shared、WPA、WPA2から指定できます。AdHocモード時はOpen、Sharedのみの選択となります。 | Open |
| WEP を使用する | ネットワーク認証でOpen、またはSharedを選択した際に表示されます。WEPを有効にする場合はキーサイズを指定し、WEPキーを入力してください。 | OFF |
| 暗号化方式 | 無線LANの暗号化方式です。ネットワーク認証でWPA、またはWPA2を選択した際に表示されます。WPAではTKIP/AES/AUTO、WPA2ではAES/AUTOの指定が可能です。 | AUTO |
| キーサイズ | WEPキーのサイズを64bit、128bitで指定します。 | 64bit |

Wireless の設定

| 項目 | | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|------------------|----------|--|--------|
| キーインデックス | | デフォルトとなる WEP キーのインデックスを 1~4 までの番号で指定します。 | 1 |
| WEP キー 1~4 | ASCII 文字 | WEP キーを英数文字列で指定します。キーサイズ 64bit の場合は 5 文字、128bit の場合は 13 文字で指定します。同じネットワーク環境に設置されている無線機器製品と同じ値を設定してください。 | 0 |
| | 16 進表記 | WEP キーを 16 進数で指定します。キーサイズ 64bit の場合は 10 桁、128bit の場合は 26 桁の数値で指定します。同じネットワーク環境に設置されている無線機器製品と同じ値を設定してください。 | 0 |
| 共有キー | | ネットワーク認証で WPA/WPA2 を指定した場合に表示されません。61 文字以内の英数文字列、または 62 文字の 16 進数で指定します。同じネットワーク環境に設置されている無線機器製品と同じ値を設定してください。 | - |

6 Web ブラウザで設定する

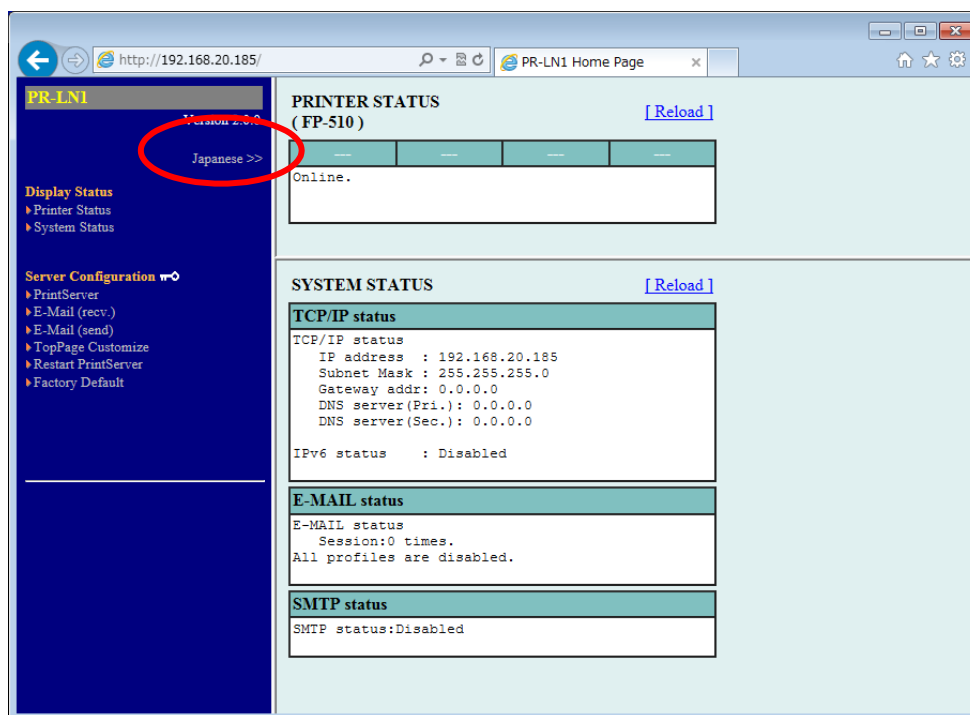
本製品はHTTPプロトコルを搭載していますので、Webブラウザを利用して本製品の詳細な設定及び設定内容の変更を行うことができます。また、リモートでの再起動やE-mail機能の設定、プリンタステータスマニタなどの便利な機能をご利用いただくことができます。

※Web ブラウザを利用する場合、本製品の TCP/IP プロトコル設定が有効であり、IP アドレスが設定されている必要があります。

※Web ブラウザは、Internet Explorer 5.0 以降のバージョンを推奨します。また、ご利用になる Web ブラウザによって多少表示が異なる場合があります。

※本製品の機種によっては、Web ブラウザに表示される内容が異なります。

※Web ブラウザで設定変更を行った場合は、必ず「プリントサーバ再起動」を実行してください。



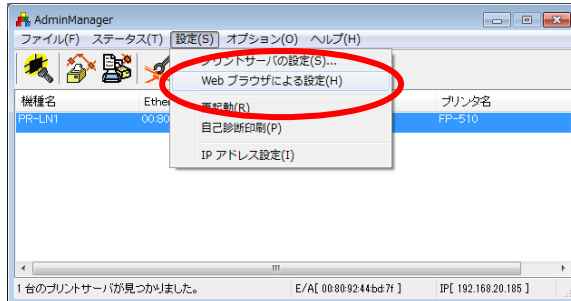
※初期画面は英語表示になっていますが、[Japanese]をクリックして日本語表示にすることができます。

6.1 本製品の Web ページを表示する

設定を行う本製品の Web ページを表示します。表示方法は2つあります。

<AdminManager を使用する>

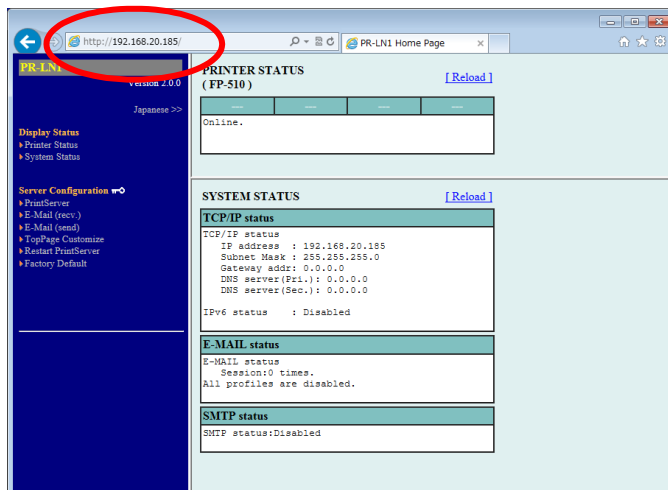
「AdminManager」一覧表示の中から、設定を行う本製品を選択し、メニューの[設定] - [Web ブラウザによる設定]をクリックする。



<Web ブラウザから Web ページを表示する>

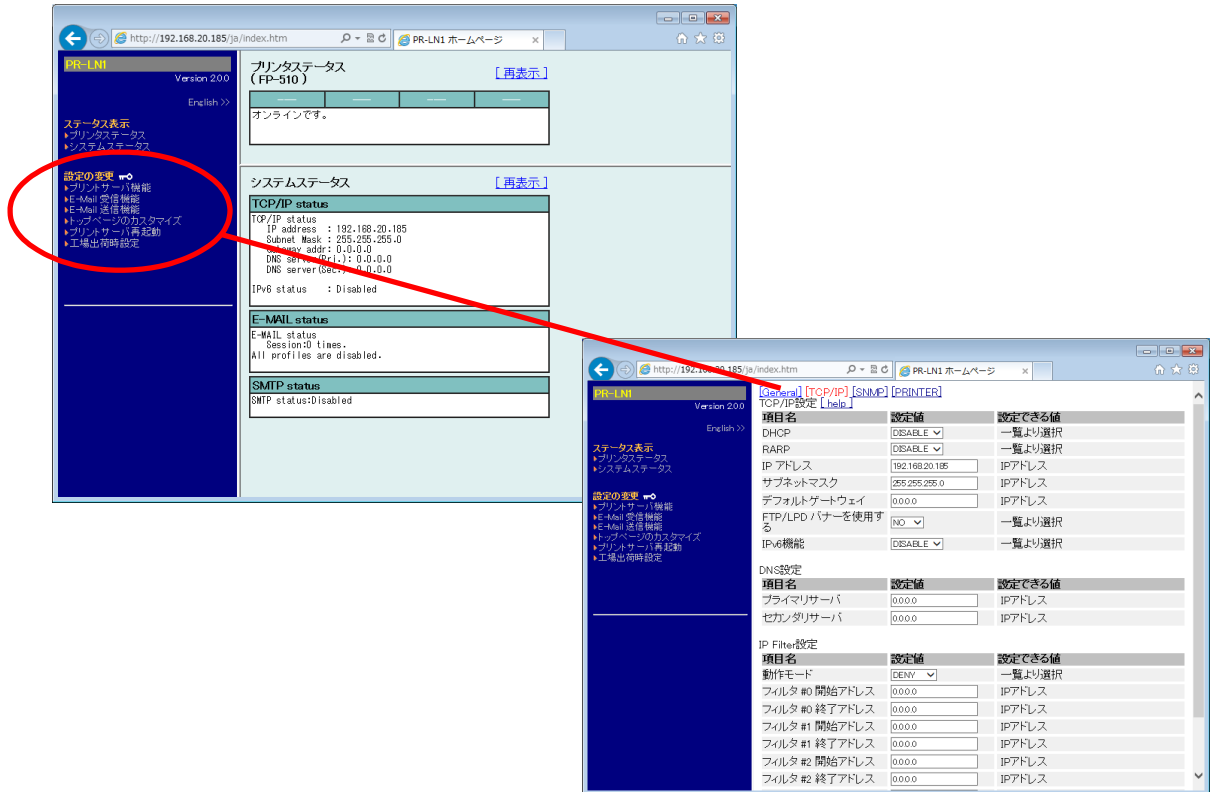
本製品に設定された IP アドレスを Web ブラウザに入力する。

例 : http://192.168.20.185



6.2 本製品の Web ページから設定する

Webブラウザに表示されている設定項目から設定したい項目をクリックすると、設定Web画面が表示されます。必要な項目に設定値を入力してください。



6.3 本製品 Web ページメニュー構成

| | | |
|---------|----------------|-----------------------|
| ステータス表示 | プリンタ/システムステータス | プリンタ/システムステータスを表示します。 |
| 設定の変更 | プリントサーバ機能 | 本製品の各種設定 |
| | E-Mail 受信機能 | E-Mail 受信機能の設定 |
| | E-Mail 送信機能 | E-Mail 送信機能の設定 |
| | トップページのカスタマイズ | 本製品の Web ページの表示設定 |
| | プリントサーバ再起動 | 本製品の再起動 |
| | 工場出荷時設定 | 本製品の工場出荷時設定実行 |

※設定変更の項目へ移る時に、ユーザ名を入力する画面が表示された場合は、「root」を入力注意してください。

※設定更新により設定を更新した場合は、設定の変更の「プリントサーバ再起動」を行い、本製品の再起動を行ってください。

6.4 Web ブラウザ設定項目

設定 Web 画面から本製品の詳細設定および設定内容の変更を行います。

<General>

ネットワークの一般的な設定を行います。

| 項目 | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|-----------------------|---|--------|
| rootパスワード | 本製品の管理パスワードを ASCII 文字列 (7 文字以内) で設定します。このパスワードは AdminManager、Web で設定を行う際の認証パスワードとして使用します。 | なし |
| rootパスワード変更 | パスワードの変更を行います。 | - |
| LAN インタフェース | 物理ネットワークの種別を設定します。通常は AUTO で使用してください。本製品の電源投入時に本製品が接続される HUB の LINK ランプが点灯しない場合は、この設定を接続 HUB のネットワーク種別に変更します。 | AUTO |
| ネットワークモード (PR-LN1Wのみ) | AUTO/WIRED/WIRELESS より、ネットワークへの接続方法を指定します。[AUTO]に設定すると、LAN ケーブルの接続状態に応じて有線接続または無線接続を自動的に選択します。[WIRED]は有線接続のみ、[WIRELESS]は無線接続のみの固定接続となります。 | AUTO |
| プリンタ名 | プリンタ名を設定します。(半角最大 31 文字、全角最大 15 文字) | なし |

<WIRELESS>

無線 LAN を使用するための設定を行います。

※PR-LN1Wのみの機能です。PR-LN1(有線LAN)では本設定は表示されません。

| 項目 | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|-------------------|--|-------------|
| 無線通信モード | 無線 LAN 規格を 802.11a/b/g、802.11a、802.11b/g から指定します。通信機器が使用する無線 LAN 規格とあわせておく必要があります。 | 802.11a/b/g |
| 無線モード | 無線モードを選択します。機器同士で接続を行う場合には AdHoc (アドホックモード) を、アクセスポイントを経由して接続を行う場合には Infra (インフラストラクチャモード) を選択します。 | AdHoc |
| 802.11g AdHoc モード | 802.11g AdHoc に対応する機器間で高速通信を行うことができます。802.11g AdHoc に対応していない場合、通信が不安定になることがありますので、その場合はこの機能を OFF にしてください。 | ON |
| SSID | 任意の文字列 (最大 32 文字) を設定します。同じネットワーク環境に設置されている無線機器製品と同じ値を設定してください。 | GROUP |
| 通信チャンネル | 任意のチャンネルを選択します。AdHoc モード時のみ指定できます。Infra モードでは、アクセスポイントの状態に応じて自動的に選択されます。選択できるチャンネルは無線通信モードの設定に従います。無線ネットワークのグループ間が隣接している環境の場合、チャンネルの周波数は 5 チャンネル以上離して設定することを推奨します。 | 11 |
| ネットワーク認証 | 無線 LAN の認証方式を設定します。Open、Shared、WPA、WPA2 から指定できます。AdHoc モード時は Open、Shared のみの選択となります。 | Open |

| 項目 | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|-----------|---|--------|
| WEP を使用する | ネットワーク認証で Open、または Shared を選択した際に表示されます。WEP を有効にする場合はキーサイズを指定し、WEP キーを入力してください。 | OFF |
| キーインデックス | デフォルトとなる WEP キーのインデックスを1~4 までの番号で指定します。 | 1 |
| キーサイズ | WEPキーのサイズを64bit、128bitで指定します。 | 64bit |
| キー入力方式 | WEP キーの入力方式を、ASCII 文字、16 進表記から指定します。 | 16進表記 |
| WEP キー1~4 | ASCII 文字を指定した場合、WEP キーを英数文字列で指定します。キーサイズ 64bit の場合は 5 文字、128bit の場合は 13 文字で指定します。16 進表記を指定した場合、キーサイズ 64bit の場合は 10 桁、128bit の場合は 26 桁の数値で指定します。同じネットワーク環境に設置されている無線機器製品と同じ値を設定してください。 | 0 |
| 暗号化方式 | 無線 LAN の暗号化方式です。ネットワーク認証で WPA、または WPA2 を選択した際に表示されます。WPA では TKIP/AES/AUTO、WPA2 では AES/AUTO の指定が可能です。 | AUTO |
| 共有キー | ネットワーク認証で WPA/WPA2 を指定した場合に表示されます。61 文字以内の英数文字列、または 62 文字の 16 進数で指定します。同じネットワーク環境に設置されている無線機器製品と同じ値を設定してください。 | - |

<TCP/IP>

IPアドレスなど、TCP/IPプロトコルを使用するための設定を行います。

| 項目 | | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|------------------|-------------|--|---------|
| DHCP | | DHCP プロトコルの有効 (ENABLE)、無効 (DISABLE) を設定します。 | ENABLE |
| RARP | | 本製品では、RARP は未サポートです。本設定は変更しないでください。 | DISABLE |
| IP アドレス | | 本製品の IP アドレスを 10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。 | 0.0.0.0 |
| サブネットマスク | | 本製品のサブネットマスクを 10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」は無効になり、IP アドレスに応じたサブネットマスクが自動的に使用されます。 | 0.0.0.0 |
| デフォルトゲートウェイ | | 本製品のデフォルトゲートウェイを 10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」は無効になります。 | 0.0.0.0 |
| FTP/LPD バナーを使用する | | FTP または LPD 印刷時にバナーページの印刷を行う (YES) か、行わない (NO) かを設定します。 | NO |
| IPv6 機能 | | IPv6 機能の有効 (ENABLE)、無効 (DISABLE) を設定します。 | DISABLE |
| DNS Config | プライマリサーバ | DNS サーバ(プライマリ)のアドレスを設定します。POP/SMTP サーバ名を IP アドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。 | 0.0.0.0 |
| | セカンダリサーバ | DNS サーバ(セカンダリ)のアドレスを設定します。POP/SMTP サーバ名を IP アドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。 | 0.0.0.0 |
| IP filter Config | IP フィルタ動作設定 | IP フィルタの動作を設定します。設定には[allow]と[deny]があり、[allow]にすると設定した IP アドレス範囲からのみデータを受けとります。[deny]にすると設定した IP アドレス範囲からのデータを受けとりません。 | DENY |
| | アドレス範囲指定 | IP フィルタの範囲を設定します。フィルタしたい IP アドレスの範囲は 4 組まで設定できます。 | 0.0.0.0 |

※DHCP プロトコルで使用する場合は、[RARP を使用する]設定を無効にしてください。

<SNMP>

ネットワーク経由で管理を行なうための設定を行います。

| 項目 | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|-------------------|---|---------|
| 認証コミュニティ名 | SNMP の認証コミュニティ名を設定します。このコミュニティ名は SNMP Set Request を受け付けるときに認証されます。(半角で最大 15 文字) | public |
| Trap コミュニティ名 | SNMP のトラップコミュニティを設定します。このコミュニティ名は本製品がトラップを発行するときに使用されます。(半角で最大 15 文字) | public |
| Trap 通知先アドレス | SNMP トラップの送信先 IP アドレスを設定します。設定値は、10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になり、いかなる場合でもトラップは発行されなくなります。 | 0.0.0.0 |
| SysContact | SysContact を設定します。通常は管理者のメールアドレスを設定します。(半角で最大 255 文字、全角で最大 127 文字) | なし |
| SysName | SysName を設定します。通常は本製品のホスト名またはドメイン名を設定します。(半角で最大 255 文字、全角で最大 127 文字) | なし |
| SysLocation | SysLocation を設定します。通常は本製品のある場所を設定します。(半角で最大 255 文字、全角も可) | なし |
| Enable AuthenTrap | Enable AuthenTrap の有効(1)、無効(2)を設定します。この設定を有効(1)にすると、SNMP でコミュニティ違反が発生した時、SNMP トラップが[Trap 通知先アドレス]で設定した IP アドレスに向けて発信されます。 | 2 |

※コミュニティ名が空白、または通知先で設定されているコミュニティ名と不一致の場合は、通知先はトラップを受信出来ませんのでご注意ください。

※セキュリティ対策のため、初期値(public)を変更することをおすすめします。

<Printer>

プリンタへ出力するための詳細設定を行います。

| 項目 | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|---------------|---|--------|
| B0J文字列(lp) | 直接出力ポート(lpポート)に出力する前に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。(半角で最大31文字) | なし |
| E0J文字列(lp) | 直接出力ポート(lpポート)に出力した後に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷後に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。(半角で最大31文字) | なし |
| B0J文字列(sjis) | 漢字フィルタ経由出力ポート(sjis/eucポート)に出力する前に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。(半角で最大31文字) | なし |
| E0J文字列(sjis) | 漢字フィルタ経由出力ポート(sjis/eucポート)に出力する後に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷後に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。(半角で最大31文字) | ¥f |
| プリンタエミュレーション | プリンタのエミュレーション(PDL)に応じた設定をします。漢字フィルタ経由出力ポート(sjis/euc)に出力する際に、プリンタのエミュレーションに応じたコードに変換します。 | ESC/P |
| タブサイズ(char.) | 漢字フィルタ経由で出力する時のタブコード(0x09)を半角スペース(0x20)に変換する文字数を設定します。この文字数を0にすると、タブ変換処理は行われません。設定値は、0~16です。 | 8 |
| 1行の文字数(char.) | 漢字フィルタ経由で出力する時の1行の文字数を設定します。設定値は、0~255です。 | 0 |
| 1ページの行数(line) | 漢字フィルタ経由で出力する時の1ページの行数を設定します。設定値は、0~255です。 | 0 |

<E-Mail 受信 (POP)>

メールサーバにあるメールを受信するための設定を行います。

| 項目 | | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|-------------------|-------------|--|---------|
| 基本設定 | POP プロトコル | POP プロトコル(メール受信機能)の有効(ENABLE)、無効(DISABLE)を設定します。 | DISABLE |
| | 着信チェック間隔(分) | メールサーバに着信を問い合わせる間隔を分単位で設定します。 | 15 |
| | ローカルタイムゾーン | タイムゾーンを設定します。日本での使用は“+09:00”となります。 | +09:00 |
| このユーザ設定を使用する(1-4) | | 各ユーザのメール受信機能の有効(ENABLE)、無効(DISABLE)を設定します。 | DISABLE |
| POP サーバ名 | | メールサーバのホスト名(または IP アドレス)を設定します。ドメイン名を使用する場合は DNS サーバの設定が必要です。(半角で最大 78 文字) | なし |
| POP ポート番号 | | POP ポート番号を設定します。通常はデフォルト値(110)で使用してください。 | 110 |
| POP ユーザ名 | | メールアカウントのログイン名(ユーザ名)を設定します。(半角で最大 31 文字) | なし |
| POP パスワード | | メールサーバに接続する際に使用するパスワードを設定します。(半角で最大 31 文字) | なし |
| APOP を使用する | | サーバで APOP 使用の有効(YES)、無効(NO)を設定します。APOP を利用するには、メールサーバが APOP に対応している必要があります。 | No |
| 受信したメールを削除する | | 本製品が受信・印刷したメールをメールサーバ上から削除するかを有効(YES)、無効(NO)で設定します。添付ファイルのあるメールは、この設定を有効(YES)にしてもメールは削除されません。 | No |
| メール受信制限 (Kbyte) | | 指定したサイズ以上のメールを、処理対象から除外します。処理対象から除外されたメールは、「受信したメールをサーバから削除」の項目をチェックしている場合でも削除されません。この項目に 0 を設定した場合は、サイズによる制限は行わず、全てのメールを処理対象とします。 | 64 |
| フィルタ設定 | | 特定のメールのみ印刷するように設定します。ヌル(空文字列)の場合は、全てのメールが印刷の対象になります。タイトル条件(S:文字列)、宛先条件(T:文字列)、同報宛先条件(C:文字列)、送信元条件(F:文字列)の4種類のセンテンスをOR条件()または、AND条件(&)で接続した文字列で設定します。(半角で最大 80 文字、全角で最大 40 文字) | なし |

※メール受信機能を有効にした場合、受信したメールを印刷しますので用紙をセットしておくことをお奨めします。

<E-Mail 送信(SMTP)>

プリンタのオフライン状態や用紙切れ状態等を通知するための設定を行います。

| 項目 | 設定内容 | 工場出荷設定 |
|-----------------|--|------------------------|
| SMTP プロトコルを使用する | SMTP プロトコルの有効 (ENABLE)、無効 (DISABLE) を設定します。無効 (DISABLE) にすると E-Mail 送信機能が停止します。 | DISABLE |
| SMTP サーバ名 | SMTPサーバのホスト名を設定します。ホスト名にはドメイン名またはIPアドレスを入力します。ドメイン名を使用する場合はDNSサーバの設定が必要です。(半角で最大78文字) | なし |
| SMTP ポート番号 | SMTPポート番号を設定します。通常はデフォルト値 (25) で使用してください。 | 110 |
| 送信元アドレス | 送信元のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを設定します。(半角で最大78文字) | なし |
| 署名 | メールの送信メッセージの文末に付加する文字列の内容を設定します。(半角で最大各63文字) 例) -----PR-LN1 [00:80:92:XX:XX:XX]----- | (製品名と Ethernetアドレス下6桁) |
| 送信アドレス (1-2) | 送信先のメールアドレスを設定します。(半角で最大78文字) | - |
| 送信先アドレス (1~2) | イベントの記録があるかを一定間隔(分単位)でチェックします。この間隔内に1つ以上のイベントが発生した場合、その記録をまとめて送信します。 | なし |
| チェック間隔(分) | プリンタがオフラインになったときメールを送信します。 | 10 |
| オフライン | プリンタの用紙がなくなったときメールを送信します。 | OFF |
| 紙切れ | プリンタに異常が発生したときメールを送信します。 | OFF |
| プリンタ異常 | 送信先のメールアドレスを設定します。(半角で最大78文字) | OFF |

7 Popup Status Monitor

「Popup Status Monitor」はプリンタの状態をパソコン画面に表示してお知らせします。また、デスクトップに常駐するため、プリンタの状態をリアルタイムに監視することができます。Popup Status Monitor をご使用の際は、プリンタの機能設定で「エラー監視」設定が有効になっていることをご確認ください。

7.1 Popup Status Monitor の起動

以下の手順に従い、Popup Status Monitor が起動します。

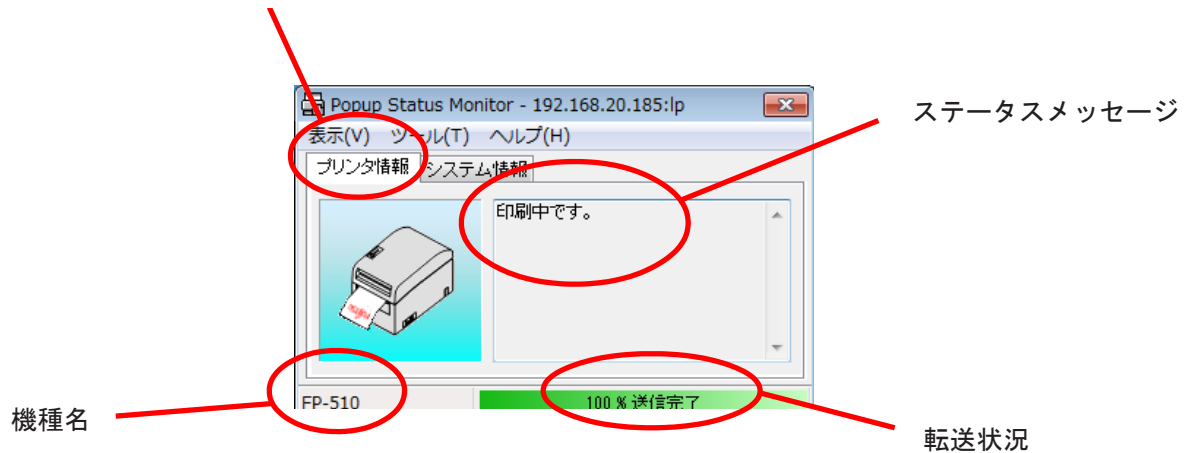
| OS | 手順 |
|---|---|
| Windows 11 以降 | (1) デスクトップ画面の Windows ロゴがついたボタン  をクリック→[すべてのアプリ]を選択します。 (2) [PR-Port Manager (または任意で指定したグループ名)] - [Popup Status Monitor] をクリックします。 |
| Windows 10 (ver1607～) / Server 2016～ | (1) デスクトップ画面左下の Windows ロゴがついたボタン  をクリックします。 (2) [PR-Port Manager (または任意で指定したグループ名)] - [Popup Status Monitor] をクリックします。 |
| Windows 10 (～ver1511) | (1) デスクトップ画面左下の Windows ロゴがついたボタン  をクリック→[すべてのアプリ]を選択します。 (2) [PR-Port Manager (または任意で指定したグループ名)] - [Popup Status Monitor] をクリックします。 |
| Windows 8.1 Windows Server 2012 R2 | (1) スタート画面を開き、マウスを画面下部に移動させます。 (2) 下矢印  が表示されますので、クリックします。 (3) [Popup Status Monitor] タイルをクリックします。 |
| Windows8 Windows Server 2012 | スタート画面を右クリックし、[すべてのアプリ]を開き、[Popup Status Monitor] タイルをクリックします。 |
| Windows 7 Windows Server 2008 R2 Windows Vista Windows Server 2008 Windows XP Windows Server 2003 WEPOS WEPOS 2009 POSReady 7 | (1) [スタート] ※ - [すべてのプログラム] を選択します。 (2) [PR-Port Manager (または任意で指定したグループ名)] - [Popup Status Monitor] をクリックします。 ※Windows 7/Vista の場合は、デスクトップ画面左下の Windows ロゴがついたボタン |
| Windows 2000 | (1) [スタート] - [プログラム] を選択します。 (2) [PR-Port Manager (または任意で指定したグループ名)] - [Popup Status Monitor] をクリックします。 |

7.2 Popup Status Monitor の表示

Windows 標準の外観で、詳細なプリンタ情報を表示することができます。

<プリンタ情報>

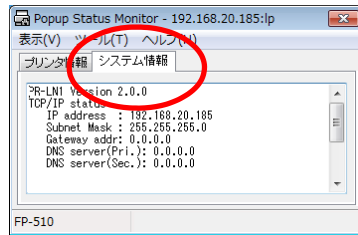
プリンタステータス状態および印刷状況を表示します。



- ステータスメッセージ
プリンタの状態を文字列で表示します。
 - ・ オンラインです。
 - ・ 印刷中です。
 - ・ カバーオープンです。
 - ・ 用紙無しです
 - ・ オフラインです
 - ・ カッタージャムエラーが発生しました。(FP-1100 固有のメッセージです)
- 機種名
本製品の機種名を表示します。
- 転送状況
印刷データの転送状況を表示します。

<システム情報>

本製品のシステムステータスを表示します。

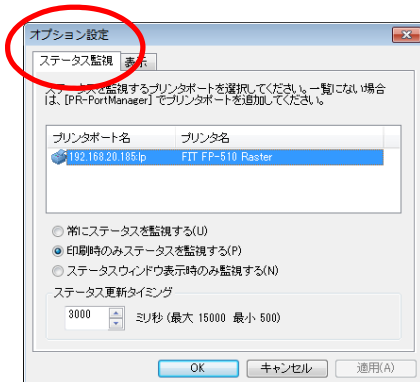


| メニュー | 項目 | 説明 |
|------|------------|---|
| 表示 | 常に最前面に表示する | ウィンドウを常に最前面に表示します。ただし、同様の設定のウィンドウが重なった場合には、そのウィンドウの背面に隠れます。 |
| | 最小化する | ウィンドウを最小化します。元に戻すには、タスク通知エリアのアイコンをクリックします。 |
| | 終了 | Popup Status Monitor を終了します。 |
| ツール | オプション設定 | オプション設定ダイアログを表示します。 |
| ヘルプ | バージョン情報 | バージョン情報を表示します。 |

7.3 オプション設定ダイアログ

Popup Status Monitor の使用条件を変更することができます。[オプション設定]をクリックして、「オプション設定」画面を表示してください。

〈ステータス監視〉



➤ PR-Port Manager ポート一覧

ご使用のパソコンに登録されている PR-Port Manager ポートの一覧が表示されます。この一覧からステータス監視を行う本製品を選択します。

※PR-Port Manager ポート一覧に表示されるポートは、LPR ポートのみで、IPP ポートは表示されません。

➤ 常にステータスを監視する

システムに常駐することにより、常にプリンタの状態を監視することができます。

➤ 印刷時のみステータスを監視する

PR-Port Manager ポートでの印刷時のみプリンタの状態を監視します。PR-Port Manager ポートでの印刷データ転送が完了すると、自動的に終了します。

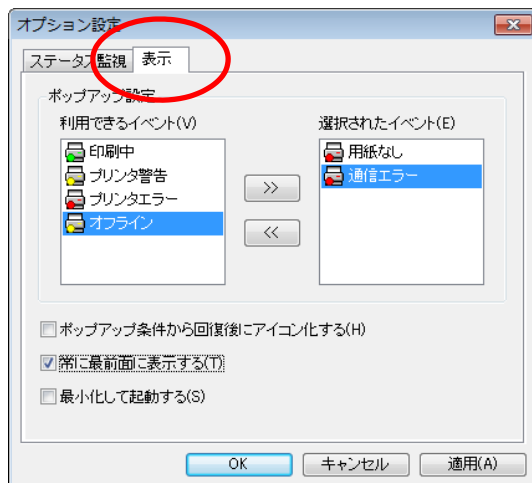
➤ ステータスウインドウ表示時のみ監視する

プリンタの状態を監視しないようにします。プリンタの状態を監視する場合は、その都度 Popup Status Monitor を起動する必要があります。

➤ ステータス更新タイミング

プリンタステータスを最新の情報に更新する間隔を設定します。

<表示>



➤ **利用できるイベント**

「Popup Status Monitor」が表示することができるイベントの一覧です。

➤ **選択されたイベント**

「Popup Status Monitor」に表示するイベントを選択した一覧です。ここに選択したイベントと、プリンタのイベントが一致した場合、「Popup Status Monitor」を表示します。

>>

「利用できるイベント」の項目を「選択されたイベント」に追加します。

<<

「選択されたイベント」の項目を「利用できるイベント」に戻します。

➤ **ポップアップ状態から回復後にアイコン化**

プリンタのイベントが終了した後、「Popup Status Monitor」を自動的に最小化し、タスクバーに常駐します。

➤ **常に最前面に表示する**

ウィンドウを常に最前面に表示します。ただし、同様の設定のウィンドウが重なった場合には、そのウィンドウの背面に隠れます。

➤ **最小化して起動する**

「Popup Status Monitor」を最小化した状態で起動します。

8 AdHoc モードでの接続について

本製品は AdHoc モードで無線接続を行うことができます。初期導入時に、有線 LAN ケーブルを使用せずに AdHoc 接続を使用して PR-LN1W の設定を行う場合、AdHoc 接続する機器に対して、以下の設定を行う必要があります。

- ・ SSID : GROUP
- ・ 認証方式 : OPEN
- ・ 暗号化方式 : 無し

- ※ AdHoc モードでの接続には高度な知識を必要とするため、初心者にはお勧めしません。
- ※ AdHoc モードは Windows 8.1 以降の OS では使用できません。

8.1 AdHoc 接続の注意点

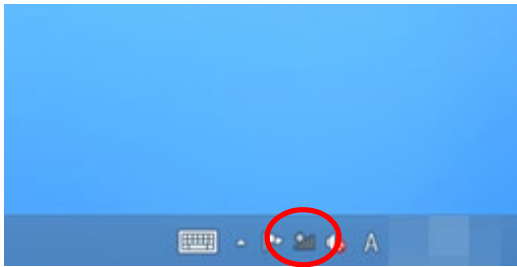
- (1) Windows で設定しようとしている SSID (本製品で使用する SSID) と同じ SSID を使用している他の無線機器が既に存在していないことを確認してください。
- (2) Windows で AdHoc 接続の設定を行う際には、プリンタ本体の電源を OFF にした状態で行ってください。Windows で設定しようとしている SSID が設定されたプリンタの電源が入っている場合、既にネットワークが存在しているメッセージが表示され、Windows の設定ができない場合があります。このような場合は、プリンタ本体の電源を OFF にし、数分待ってから再度設定を行ってください。
- (3) 上記設定は、PR-LN1W が初期状態で接続を行うためのものです。実際にご使用される環境では、無線セキュリティの設定を行うことを推奨します。
- (4) 無線 LAN を使用する際に、無線セキュリティ設定が行われていない場合、不正にアクセスされたり、通信内容を見られたりする恐れがあります。

8.2 AdHoc 接続の設定

Windows 8 の場合

Windows 8 ではアドホックモードで接続を開始するための設定はありません。アドホックネットワークを作成できませんが、アドホックネットワークが圏内にあれば、それを検出し、そのネットワークに接続したときにアドホックモードでの通信を開始します。接続方法は以下の通りです。

1. デスクトップ画面右下の通知領域に表示されているネットワークアイコンをクリックします。



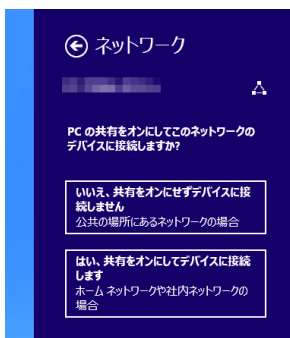
2. 無線 LAN のアクセスポイント名 (SSID) の一覧の中から利用するアクセスポイントを選択し、接続します。



※3 つの四角形がつながっているアイコンをクリックします。

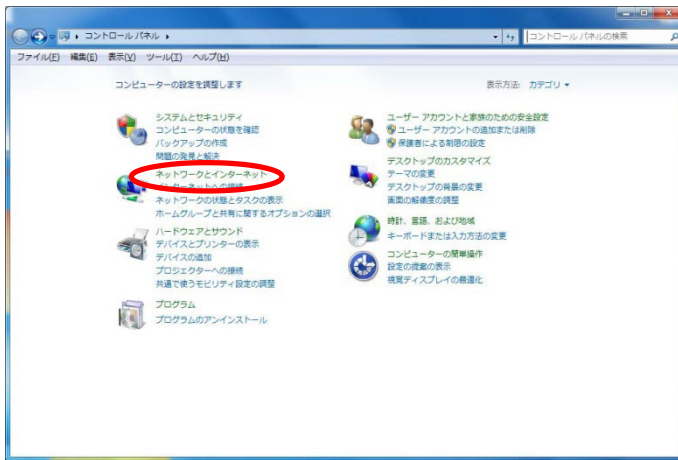
※ご利用の環境によってはネットワークの名前やネットワークセキュリティキーを入力する画面が表示されます。画面の指示に従って入力してください。

3. 共有するかどうかを選択します。

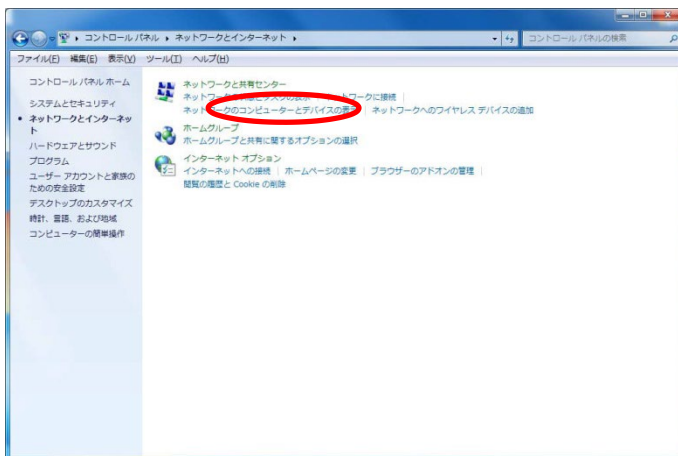


Windows 7/Vista の場合

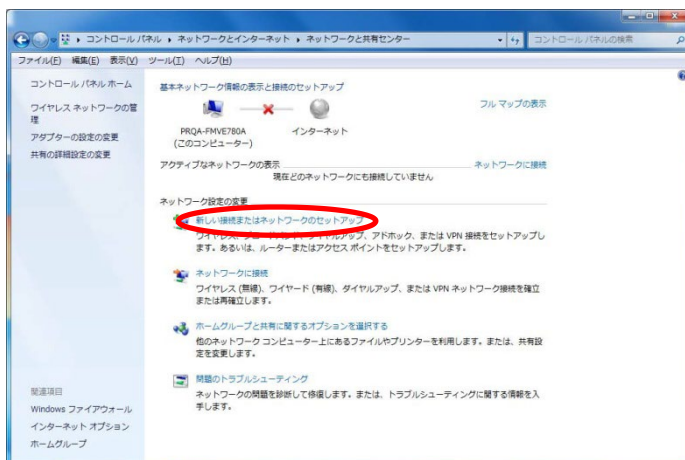
1. [スタート] -[コントロールパネル] を選択し、[ネットワークとインターネット] をクリックします。



2. [ネットワークと共有センター] をクリックします。

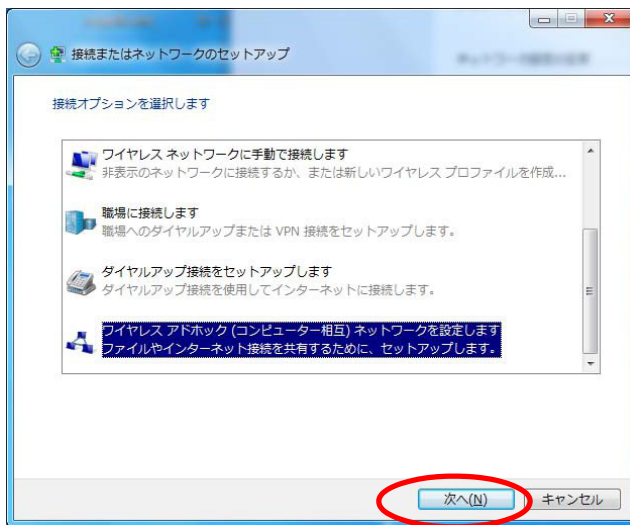


3. [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックします。

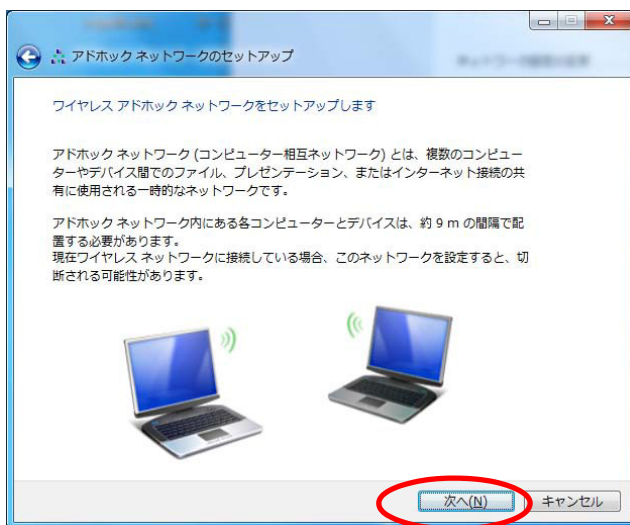


※Windows Vista の場合は、画面左側のタスクから[接続またはネットワークのセットアップ] をクリックします。

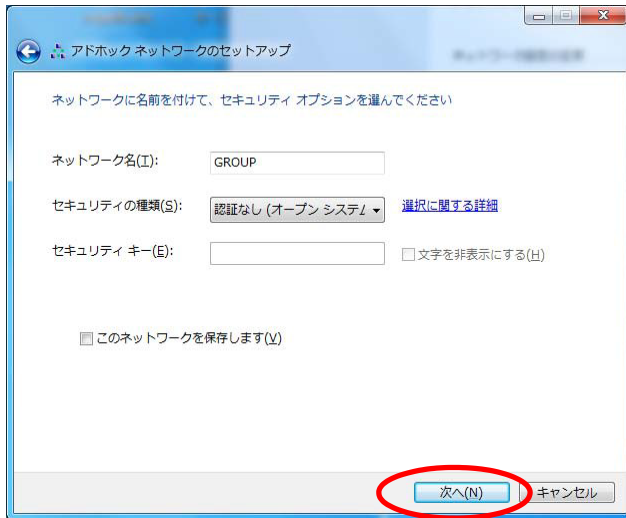
4. [ワイヤレスアドホック(コンピューター相互)ネットワークを設定します]を選択し、[次へ]をクリックします。



5. [アドホックネットワークのセットアップ]が表示されるので、[次へ]をクリックします。



6. PR-LN1W の設定に合わせてネットワーク名とセキュリティの種類、セキュリティキーを指定し、[次へ]をクリックします。



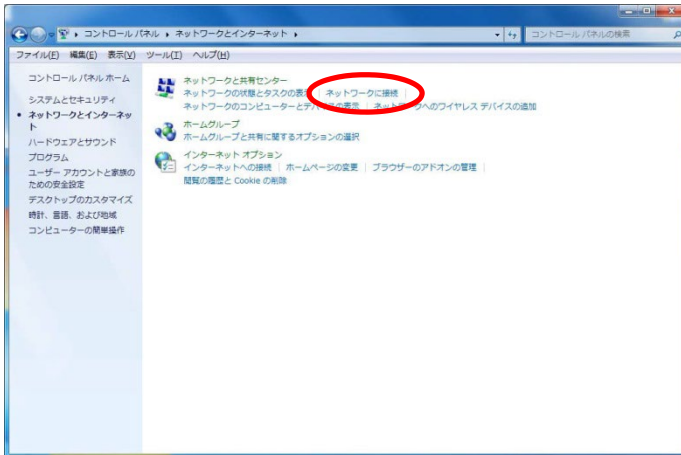
※初期設定時は、ネットワーク名を [GROUP]、セキュリティの種類を [認証なし (オープンシステム)] に指定してください。

※必要に応じて、[このネットワークを保存します] のチェックを入れてください。

7. これで AdHoc ネットワークの設定は完了です。[閉じる] をクリックしてください。



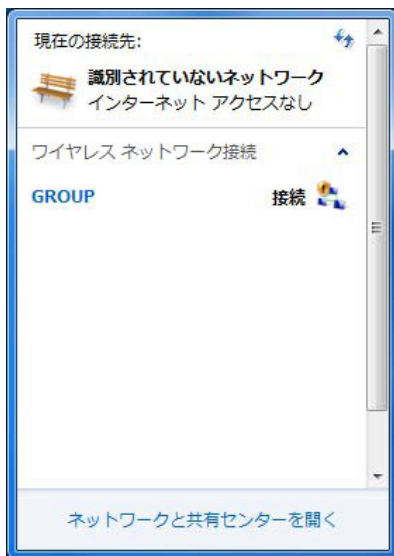
- [コントロールパネル]から[ネットワークとインターネット]をクリックし、[ネットワークと共有センター]のグループから[ネットワークに接続]をクリックします。



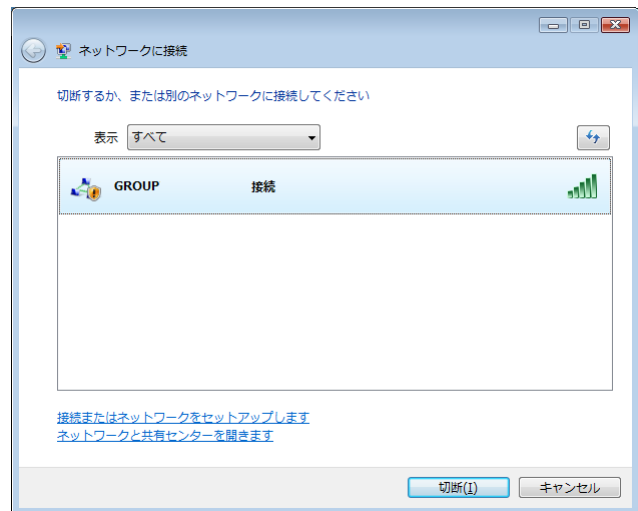
※Windows Vista の場合は、[ネットワークへの接続]をクリックします。

- プリンタ本体の電源を入れ、追加した設定が有効になっているか確認してください。
(設定してから接続まで数分間時間が必要になります。)

Windows7 の場合

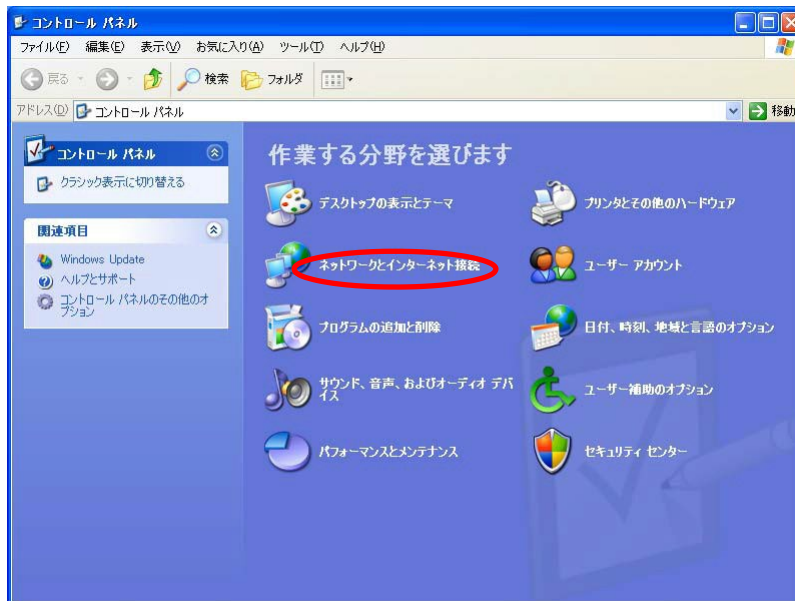


Windows Vista の場合

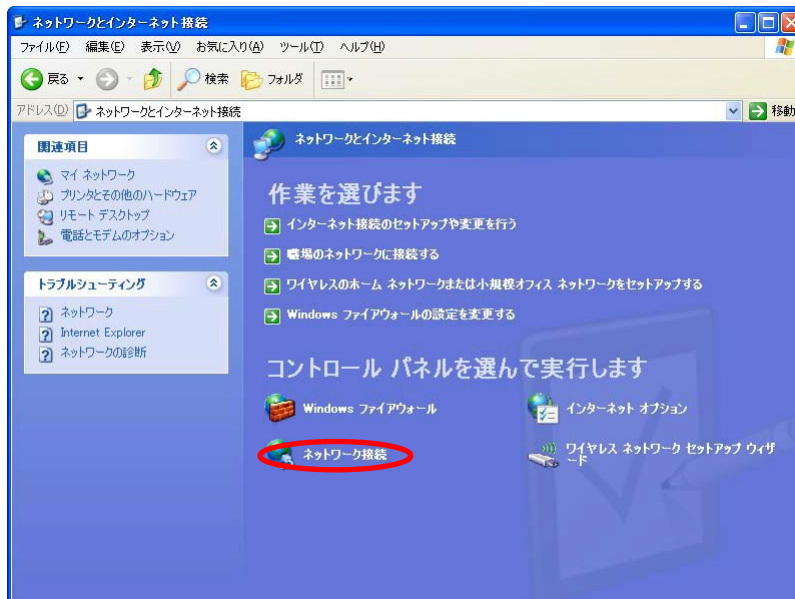


Windows XP の場合

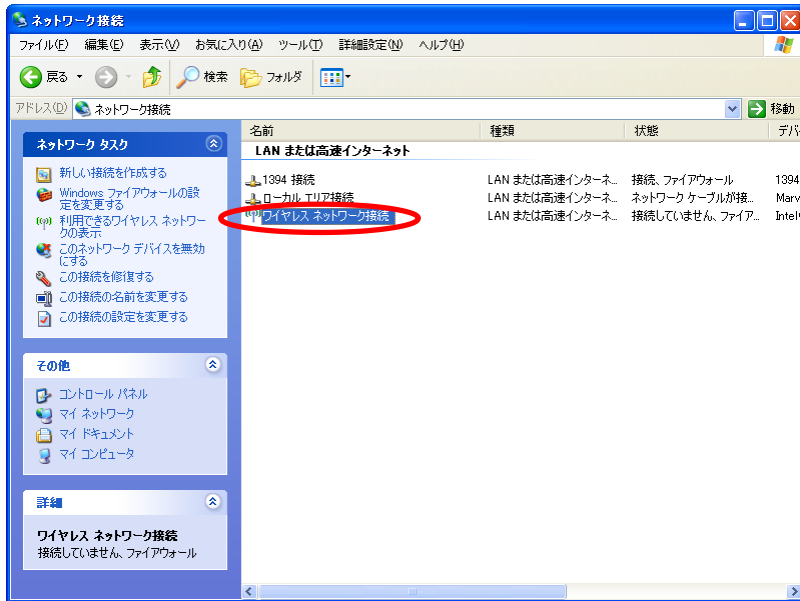
1. [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[ネットワークとインターネット接続] をクリックします。



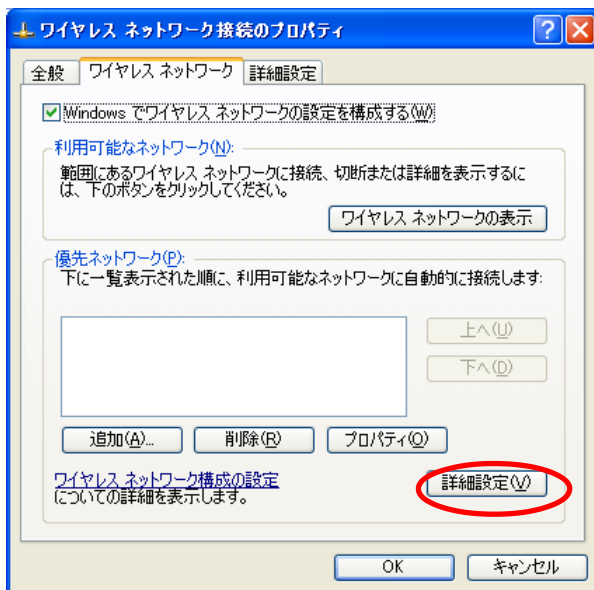
2. [ネットワーク接続] をクリックします。



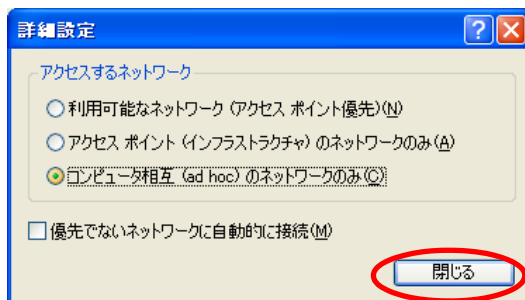
3. [ワイヤレスネットワーク接続]を選択して右クリックし、[プロパティ]を選択します



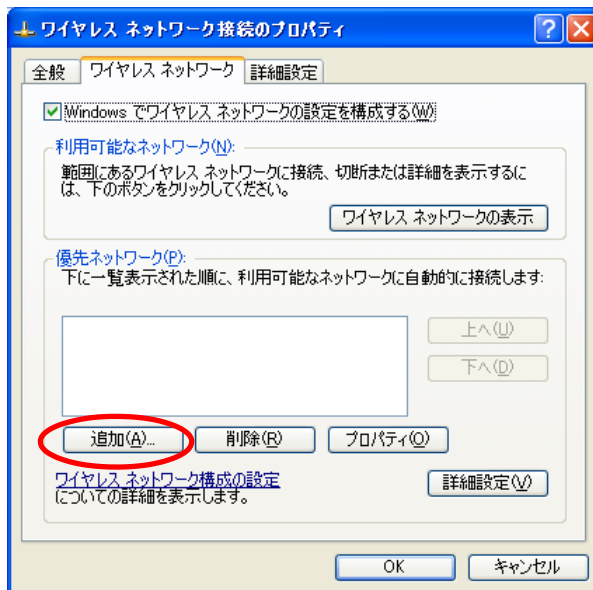
4. [ワイヤレスネットワーク]タブを選択し、[詳細設定]をクリックします。



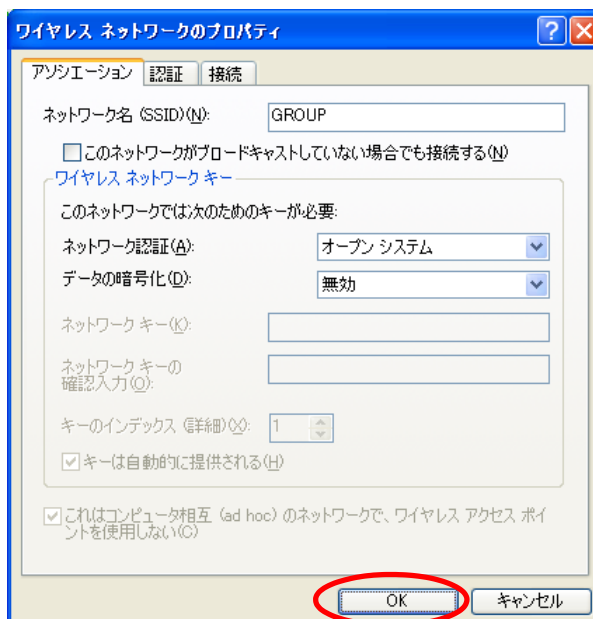
5. [コンピュータ相互 (ad hoc) のネットワークのみ]を選択し、[閉じる]をクリックします。



6. [追加] をクリックします。

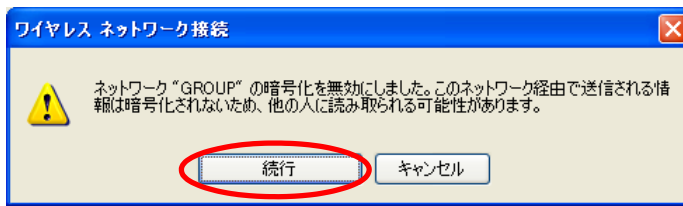


7. [アソシエーション] タブのネットワーク名 (SSID) とネットワーク認証、データの暗号化を指定し、[OK] をクリックします。

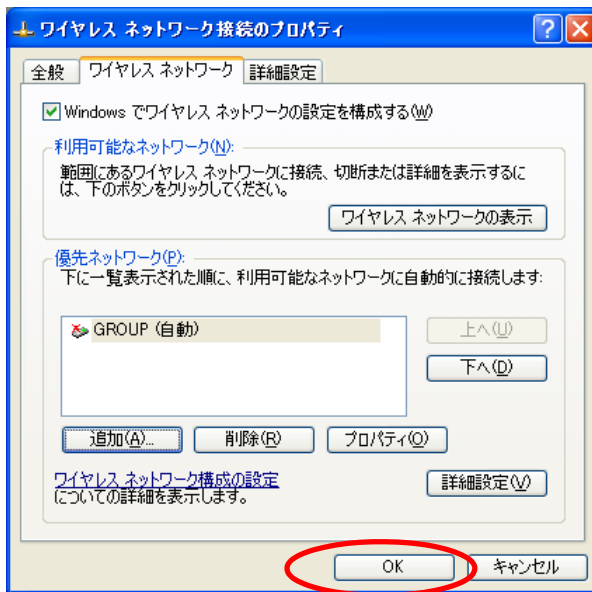


※初期設定時は、ネットワーク名 (SSID) を [GROUP]、ネットワーク認証を [オープンシステム]、データの暗号化を [無効] に指定してください。

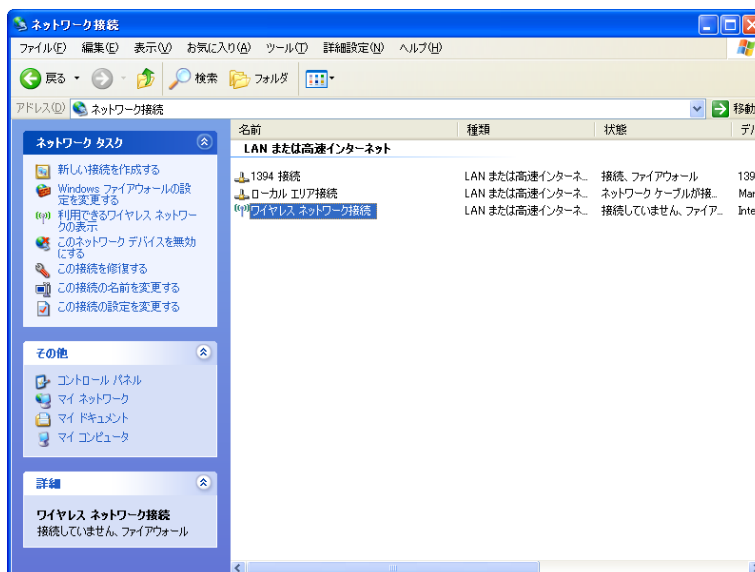
8. 暗号化を無効にしたメッセージが表示されますが、[続行]をクリックしてください。



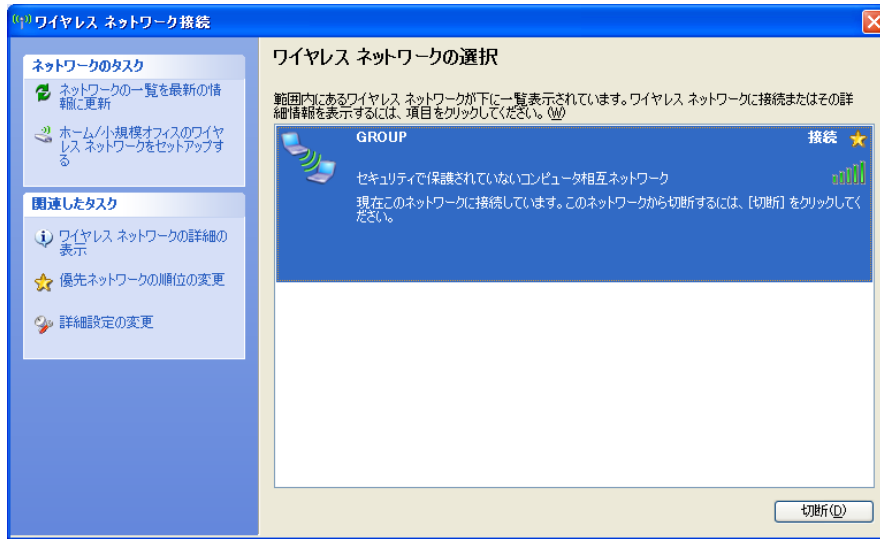
9. 優先ネットワークに追加したネットワークが追加されているのを確認し、[OK]をクリックします。これで AdHoc ネットワークの設定は完了です。



10. [コントロールパネル]から[ネットワークとインターネット接続]を選び、[ネットワーク接続]を表示します。[ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示]を選択します。



11. プリンタ本体の電源を入れ、追加した設定が有効になっているか確認してください。（設定してから接続まで数分間時間が必要になります。）



9 トラブルシューティング

本章では本製品の導入時に想定される問題と、その解決法を説明します。

・文中のマークについて

[確認]

問題が起きた時に、はじめに確認してください。

[対策]

問題解決のための具体的な手段です。

9.1 導入時の問題

- **「設定ツール(Quick Setup、AdminManager)で検索を行ったが、本製品が一覧に表示されません」または「ネットワーク上で認識されません」**

[確認1]

下記内容を確認し、再度設置作業を行ってください。

- ・ プリンタの電源は ON になっていますか？
- ・ ネットワークケーブルが正しく接続されていますか？
- ・ イーサネットハブ(HUB)のポートが故障していないか確認してください。
※イーサネットハブ(HUB)は、無線 LAN アクセスポイントに内蔵されているものを含みます。
- ・ 稼動している本製品と接続イーサネットハブ(HUB)の LINK LED が点灯していますか？点灯していない場合は、ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。

＜ガイド＞ 設定内容の印刷方法については「プリンタの取扱説明書」をご参照ください。
無線 LAN をご使用の場合には、「9.4 無線 LAN 接続時の問題」もご参照ください。

[確認2]

- ・ Windows XP/Windows Server 2003環境でTCP/IPプロトコルをご利用になる場合は、[ローカルエリア接続のプロパティ] - [詳細設定] - [インターネットからのこのコンピュータへのアクセスを制限したり...]のチェックを外してください。

[確認4]

パソコンでファイアウォール機能により検索が遮断されている可能性があります。

- ・ Windows ファイアウォールで例外登録をしてください。
- ・ 常駐ソフト(ファイアウォール機能があるセキュリティソフト等)のファイアウォール(プロテクト)機能を一時的に無効にするか例外登録をしてください。
- ・ Windows XP/Windows Server 2003 をご利用の場合、ローカルエリアネットワークのプロパティ内、詳細タブの「インターネット接続ファイアウォール」を一時的に無効にしてください。

[確認5]

ルータを越えての接続の場合、「AdminManager」や「PR-Port Manager」のプリントサーバ検索はできないことがあります。

- ・ 同一 LAN 上から検索を行ってください。

➤ **接続しているプリンタと「AdminManager」に表示されているプリンタが違っている。**

[対策 1]

- ・ 本製品の初期化を行い、工場出荷設定に直した後、もう一度検索を行ってください。

[対策 2]

- ・ 本製品を現在使用しているプリンタとは別のプリンタで使用する場合、本製品の初期化を行い、再設定を行ってください。

➤ **IP アドレスの設定を行うと通信エラーになります。**

[確認1]

本製品の LINK/STATUS LED が正常に点灯しているか確認してください。

- ・ プリンタの電源は ON になっていますか？
- ・ ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ・ イーサネットハブ(HUB)のポートが故障していないか確認してください。
※無線LANをご使用の場合には、「9.4 無線LAN接続時の問題」もご参照ください。

[確認2]

設定ツールを起動しているパソコン側の IP アドレスが確定しているか確認してください。

- ・ ご使用のパソコンおよびネットワークに存在する他のパソコンと通信ができているか確認するために、MS-DOS プロンプトより Ping コマンドを実行してください。

<ガイド>Ping コマンドの使用方法については、「9.3 Windows TCP/IP 環境での問題」の
確認 1 を参照してください。

[確認3]

本製品が初期化されているか確認してください。

- ・ 本製品を工場出荷設定に戻す方法については、「5.2 AdminManager で本製品の設定を行う」をご参照ください。

[確認4]

本製品に不正な IP アドレスを設定している可能性があります。

- ・ ルータやサーバが不正な IP アドレスを設定していないか確認してください。
- ・ 不正な IP アドレスが設定された本製品は、ルータやサーバが存在しない環境(パソコン 1 台、HUB 1 台、本製品が接続されたプリンタ 1 台のローカル環境)を作成し、パソコンを本製品と同じセグメント内の IP アドレスに設定してから、ツールを起動して TCP/IP の設定で「IP アドレスを指定」に変更して正しい IP アドレスを設定してください。またその後、元の環境に戻してください。

※不正な IP アドレスを設定するルータやサーバがある場合、本製品の TCP/IP 設定を「IP アドレスを自動的に取得」にすると、自動的に不正な IP アドレスが設定され、IP アドレスの変更や初期化ができなくなります。

[確認 5]

本製品と設定を行っているパソコンが同一セグメント内に無い可能性があります。

- ・ 本製品と設定を行っているパソコンが同一セグメント内にあることを確認してください。

[確認6]

本製品が取り付けられたプリンタを他のネットワークへ移設していませんか？ネットワーク上に DHCP が存在している環境から、「工場出荷設定に戻す」作業を行わない状態で、ネットワーク上に DHCP が存在しない環境へ移設した可能性があります。

- ・ 移設前の環境へ接続し、AdminManager から「工場出荷設定に戻す」作業を行ってください。

<ガイド>本製品が取り付けられたプリンタを他のネットワークに接続する場合は、事前に「工場出荷設定に戻す」作業を必ず行ってください。

➤ **インストールの際ウィザードが表示されません**

[確認]

- ・ ソフトウェアをインストールする際、環境によってはウィザードがメイン画面の裏に隠れてしまっている場合があります。そのような場合メイン画面を移動して操作を行ってください。

9.2 印刷時の問題

➤ 印刷が行えません

[確認]

下記内容を確認し、再度設置作業を行ってください。

- ・ プリンタの電源は ON になっていますか？
- ・ 稼動している本製品と接続イーサネットハブ (HUB) の LINK LED が点灯していますか？
- ・ ネットワークケーブルが正しく接続されていますか？
- ・ ネットワークケーブルは断線していませんか？
- ・ イーサネットハブ (HUB) のポートが故障していませんか？

➤ バナーページが正常に印刷されません

[対策]

- ・ 前回印刷を行った時の設定が残ったままになっていることが考えられます。B0J 文字列または E0J 文字列の設定でリセットコマンドを定義してください。

例) : “¥x1B@”

➤ 印刷を中止したい

[対策]

再印刷を正しく行うには、以下の手順で印刷中止を行ってください。

- (ア) プリンタフォルダより印刷に使用したプリンタを開く。
- (イ) スプーラにある印刷中のドキュメントを削除する。
- (ウ) プリンタの電源を OFF/ON する。

➤ **印刷したいプリンタが動作せず、他のプリンタに印刷されてしまう**

[確認]

- ・ 印刷したいプリンタと他のプリンタの IP アドレスが同じ設定になっていませんか？
- ・ IP アドレス設定を確認し、再設定を行ってください。

➤ **印刷が途中で停止してしまう**

[確認1]

- ・ 印刷中のプリンタと他のプリンタの IP アドレスが同じ設定になっていませんか？

[確認2]

多数の印刷データを送っていませんか？

- ・ 多数の印刷データを送ると、印刷が一時停止することがあります。一定時間経過すれば印刷が再開されますのでお待ちいただきますようお願いいたします。

[確認3]

- ・ PR-Port Manager LPR ポートで印刷している場合、LPR ポートの設定を[拡張ポートを使用しない]にしている可能性があります。プリンタのプロパティ画面で [ポートの構成] または [ポートの設定] をクリックして、[拡張ポートを使用しない]のチェックをはずしてください。

[確認4]

- ・ OS 標準の IPP ポートを使用して印刷中に用紙無しなどのプリンタエラー状態を放置したままにすると、OS 側でタイムアウトとなり印刷が停止することがあります。専用 IPP ポート (PR-PortManager) を作成し印刷してください。

9.3 WindowsTCP/IP 環境での問題

➤ 印刷が行えません

[確認1]

TCP/IPプロトコルを使用している場合、本製品に割り当てたIPアドレスに、Pingコマンドを使って、応答があるか確認してください。Pingコマンドによる応答がない場合、IPアドレスが正しく設定されていない可能性があります。本製品の初期化を行い、工場出荷時設定に戻してください。その後、再度IPアドレスの設定を行ってください。

例:Windows 7 のコマンドプロンプトで ping を実行する場合

[スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト]
で右クリックし[管理者として実行...]を選択し、Ping XXX.XXX.XXX.XXX を実行すると下記内容が表示されます。XXX.XXX.XXX.XXX は本製品の IP アドレスです。

(Pingに応答がある場合)

```
Reply from XXX.XXX.XXX.XXX:bytes=32 time<1ms TTL=255
Reply from XXX.XXX.XXX.XXX:bytes=32 time<1ms TTL=255
Reply from XXX.XXX.XXX.XXX:bytes=32 time<1ms TTL=255
Reply from XXX.XXX.XXX.XXX:bytes=32 time<1ms TTL=255
```

(Pingに応答がない場合)

```
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.
Request timed out.
```

<ガイド>本製品を工場出荷設定に戻す方法については、「5.2 AdminManager で本製品の設定を行う」をご参照ください。

[確認2]

- ・ 使用しているプリンタドライバの印刷先ポートの設定ができていない可能性があります。「プリンタ」のプロパティの[詳細]で[印刷先のポート]を確認してください。本製品のポート名は、任意のポート名の後に「PR-Port Manager LPR Port」、「PR-Port Manager IPP Port」と記されています。

例)印刷先ポート= xxx.xxx.xxx.xxx:lp<PR-Port Manager LPR Port>

※xxx.xxx.xxx.xxx は IP アドレス

[対策1]

- ・ お使いのパソコンと本製品が同一セグメント内に無い場合、本製品にサブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定を行う必要があります。AdminManager、または本製品のWebページでサブネットマスク、ゲートウェイアドレスが正しく設定されているか確認してください。

[対策2]

- ・ ネットワーク上にDHCPサーバが存在していると、IPアドレスの自動割当を行うため、本製品に設定したIPアドレスが、各サーバにより書き換えられてしまう可能性があります。各サーバに本製品のIPアドレスを自動的に割り当てられないように、設定項目の[DHCPを使用する]のチェックボックスを外して、再度IPアドレスの設定を行ってください。

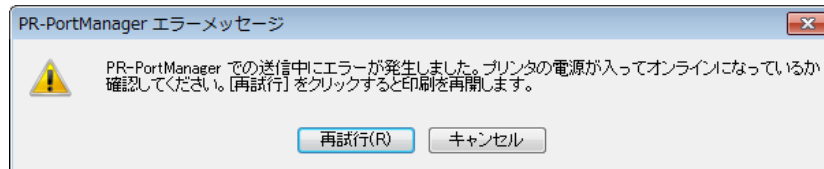
➤ **印刷中にエラーが発生します**

[確認1]

他の人が大量に印刷している時や、大きなサイズのデータを印刷している時に印刷を行った場合、他の人の印刷が終了するまで印刷ができません。長時間待たされた場合、タイムアウトが発生してエラーとなることがあります。その際は、再度印刷を行ってください。

[確認2]

- ・ 印刷中に LAN ケーブルが外れ、下記メッセージが表示された場合は、LAN ケーブルを接続しプリンタ電源を OFF/ON してください。



➤ **印刷を行うとダイヤルアップが起動します**

[確認]

- ・ ダイヤルアップを「キャンセル」すると、ダイヤルアップアダプタから LAN アダプタへ処理が移行され、印刷が開始されます。この現象は Windows の仕様によります。

9.4 無線 LAN 接続時の問題

➤ 無線LANで通信できません

[確認1]

設置が正しく行われていない可能性があります。下記内容を確認し、再度設置作業を行ってください。

- ・ 無線 LAN アクセスポイントの電源は ON になっていますか？ (Infra モード時)
- ・ 無線 LAN アクセスポイントとパソコン間の接続が正しく行われていますか？ (Infra モード時)

[確認2]

有線LANのモードで起動している可能性があります。

- ・ 本製品のネットワークモード設定が有線 LAN (WIRED) になっていませんか？
- ・ 本製品にネットワークケーブルが接続されていませんか？ (ネットワークモードの設定が“AUTO”の場合、ネットワークケーブルが接続されていると、有線 LAN モードで起動します。)

[確認3]

無線LANの設定がご使用の環境に合っていない可能性があります。

- ・ 本製品と無線で接続する通信機器 (無線LANアクセスポイント等) の無線設定 (SSID, ネットワーク認証方式, 暗号化方式) に合わせて本製品の設定が正しく行われていますか？

➤ 通信が途中で切れる場合があります


[確認]

通信途中で無線LAN接続が切れる場合、ご使用の環境の電波状態が悪い可能性があります。

- ・ 無線通信を行う距離や、障害物の有無等、設置環境に問題が無いかご確認ください。

10 改訂履歴

| Revision | 更新日 |
|----------|-----------------|
| 2.0.0.0 | 初版 (2013.07.30) |
| 2.0.1.0 | 2014.06.04 |
| 2.0.2.0 | 2016.05.17 |
| 2.0.3.0 | 2019.06.20 |
| 2.0.4.0 | 2022.08.25 |


FUJITSU